

北秋田市スポーツ推進計画

(令和3年度～令和7年度)

スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田
～ライフステージに応じたスポーツの推進～



北秋田市教育委員会

第 1 章 北秋田市スポーツ推進計画策定概要

1	計画策定の目的	1
2	計画の位置づけ	2
3	計画の期間	3

第 2 章 本市を取り巻くスポーツの現状と課題

1	市民の運動・スポーツに対する意識	4
2	体育施設の状況	11
3	スポーツ推進委員の役割と現状	14
4	運動・スポーツの課題	15

第 3 章 基本目標と目指す姿

1	目指す姿	16
2	基本目標	17

第 4 章 施策の展開

1	スポーツ環境の充実	19
2	生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化	20
3	競技スポーツの向上	22

資 料

1	各委員名簿	23
2	アンケート結果	
	スポーツ推進に関する市民意識調査結果	24
	スポーツ推進に関する児童・生徒意識調査結果	33

第 1 章 北秋田市スポーツ推進計画策定概要

1 計画策定の目的

国では、平成 23 年度に制定されたスポーツ基本法第 9 条に基づき、平成 24 年 3 月には 5 年間の第 1 期スポーツ基本計画が策定され、様々な施策が推進されました。

その後、平成 29 年 3 月に第 2 期スポーツ基本計画が策定され、スポーツの価値を高めるための施策を講じ、魅力あるスポーツ環境の創出やスポーツ以外の分野との連携等が盛り込まれました。また、地方公共団体への期待することとして、地域の特性やニーズに対応したスポーツの施策を主体的に実施し、スポーツを通じた健康増進、共生社会実現や経済・地域の活性化を通じた活力ある社会づくりに関係部署・団体が一体となって取り組むことが求められております。

また、秋田県においては平成 21 年に宣言した「スポーツ立県あきた」により平成 22 年から 22 年後の目指す姿を「スポーツを通じてすべての県民が幸福で豊かな生活を営む元気な秋田」とし、第 1 期にあたる「秋田県スポーツ振興基本計画」、第 2 期にあたる「秋田県スポーツ推進計画」が策定されました。

それらを受け本市では、「北秋田市スポーツ振興基本計画（以下「振興基本計画」という。）（平成 25 年度～平成 29 年度）」を策定し取り組んでまいりました。

平成 29 年度には、スポーツ活動の現状から、スポーツ施策の課題を整理した上で、平成 30 年～平成 32 年度までの「北秋田市スポーツ推進計画」を策定し「スポーツを通じて市民が健康で活力ある元気な北秋田」を目指して、様々な施策に取り組んできたところであります。

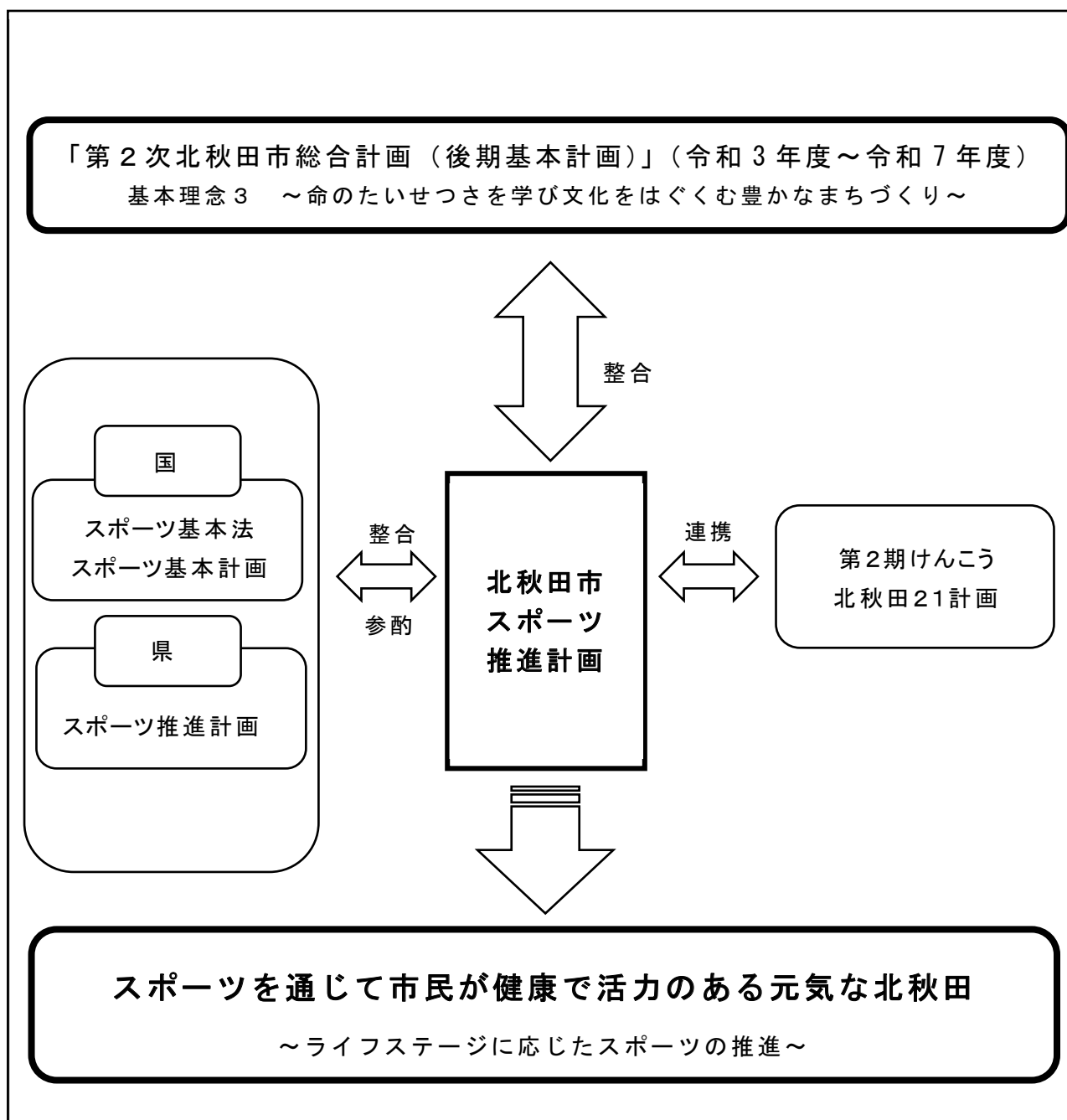
しかしながら、少子高齢化の進展による加速度的な人口減少やそれに伴う経済規模の縮小及び地域活力の低下、新しい生活様式の対応など、本市を取り巻く情勢は大きく変化し、スポーツ環境はもちろん、様々な分野に大きな影響を及ぼしています。

このたび本市では「第 2 次北秋田市総合計画（後期基本計画）（以下「第 2 次総合計画」）」を策定しました。この計画は令和 3 年度から令和 7 年度までの計画となっており、令和 7 年度を目標年次とし計画を策定していることから、この計画と連動し、新たに「北秋田市スポーツ推進計画（令和 3 年度～令和 7 年度）」を策定するものであります。

これは、平成 30 年度策定の「北秋田市スポーツ推進計画」を継承し、国のスポーツ基本計画の基本方針でありますスポーツを「する」「みる」「ささえる」を視点として、子どもから高齢者まで全ての市民が、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、市民が健康で活力のある元気な北秋田市の実現と北秋田市総合計画に掲げる目標の達成をめざすものです。

2 計画の位置づけ

本計画はスポーツ基本法第10条に基づく計画であり、国の「スポーツ基本計画」及び「秋田県スポーツ推進計画」を参酌・引用し、本市の「第2次北秋田市総合計画」の施策目標達成に向け整合性を保ち、実情にあわせ策定するスポーツ推進の基本的な計画です。



3 計画の期間

本計画の期間は、本市の新たなまちづくりを実現するための「第2次北秋田市総合計画 後期基本計画」に合わせ令和7年度までとしております。

H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
国：スポーツ基本計画 (H24～H28)				国：第2期スポーツ基本計画 (H29～R3)								
基本 計画	秋田県スポーツ推進計画 (H25～H29)			秋田県第3期計画 (H30～R3)			秋田県第4期計画 (R4～R7)					
北秋田市総合計画 (H18～H27)		第2次北秋田市総合計画（前期） (H28～R2)			第2次北秋田市総合計画（後期） (R3～R7)							
北秋田市スポーツ振興基本計画 (H25～H29)				北秋田市スポーツ 推進計画 (H30～R2)		当該計画（R3～R7）						
												

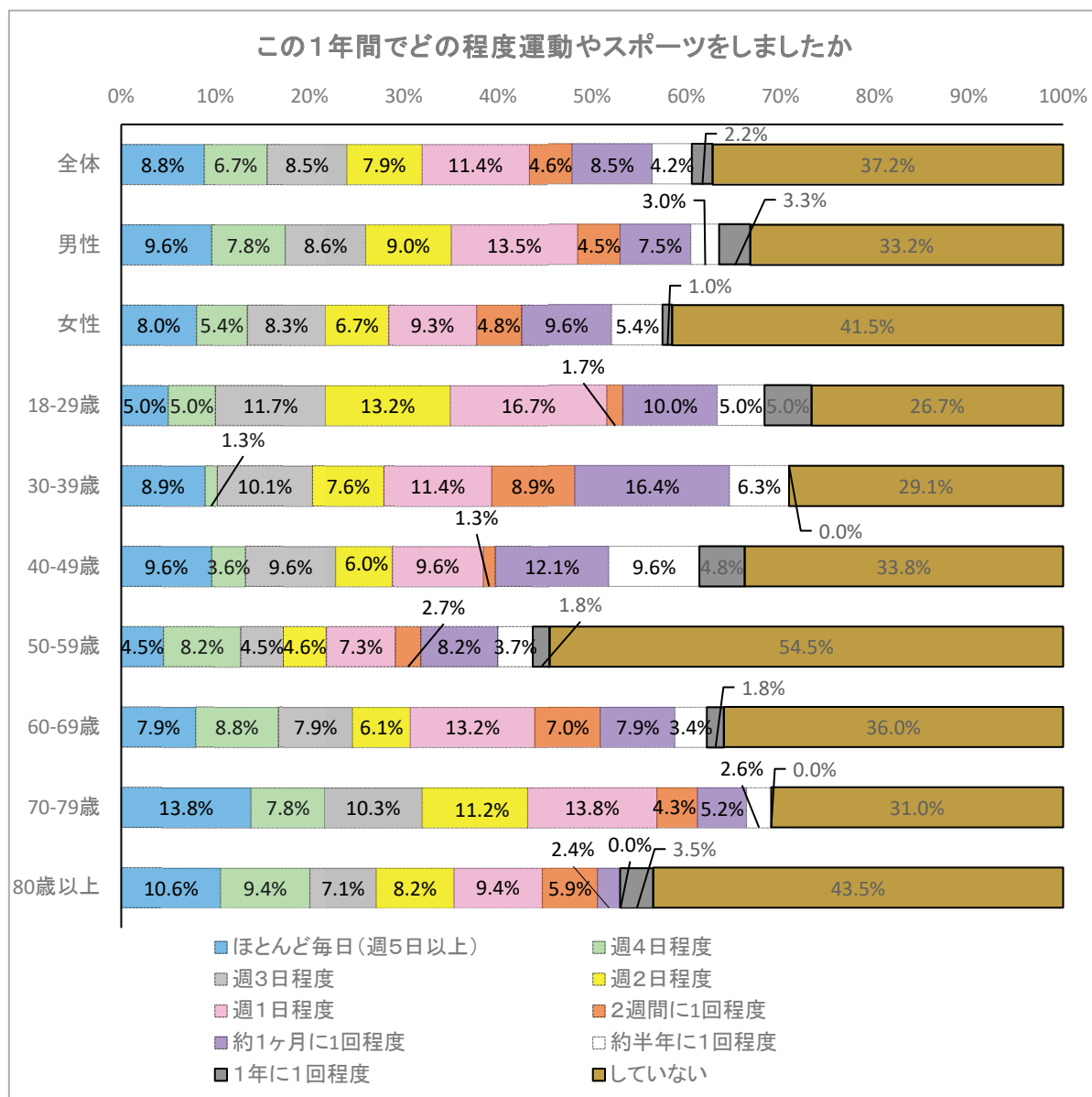
第2章 本市を取り巻くスポーツの現状と課題

北秋田市スポーツ推進計画の策定にあたり、市民のスポーツに関する考え及び実態を把握するため、毎年10月にスポーツ推進に関する市民意識調査を1,400人の無作為抽出で実施しています。結果は以下のとおりです。

1 市民の運動・スポーツに対する意識

(1) この1年間で運動やスポーツ活動をどの程度していますか。

18歳から80歳以上を全体とした場合、「ほとんど毎日」8.8%、「週4日程度」6.7%、「週3日程度」8.5%、「週2日程度」7.9%、「週1日程度」11.4%、と週1回以上運動している人が43.3%で、令和元年度に国で行った調査の53.5%を10.2%下回っています。一方で「していない」と答えた人が37.2%となっており令和元年度に国で行った調査の18.0%を19.2%上回る割合となっています。

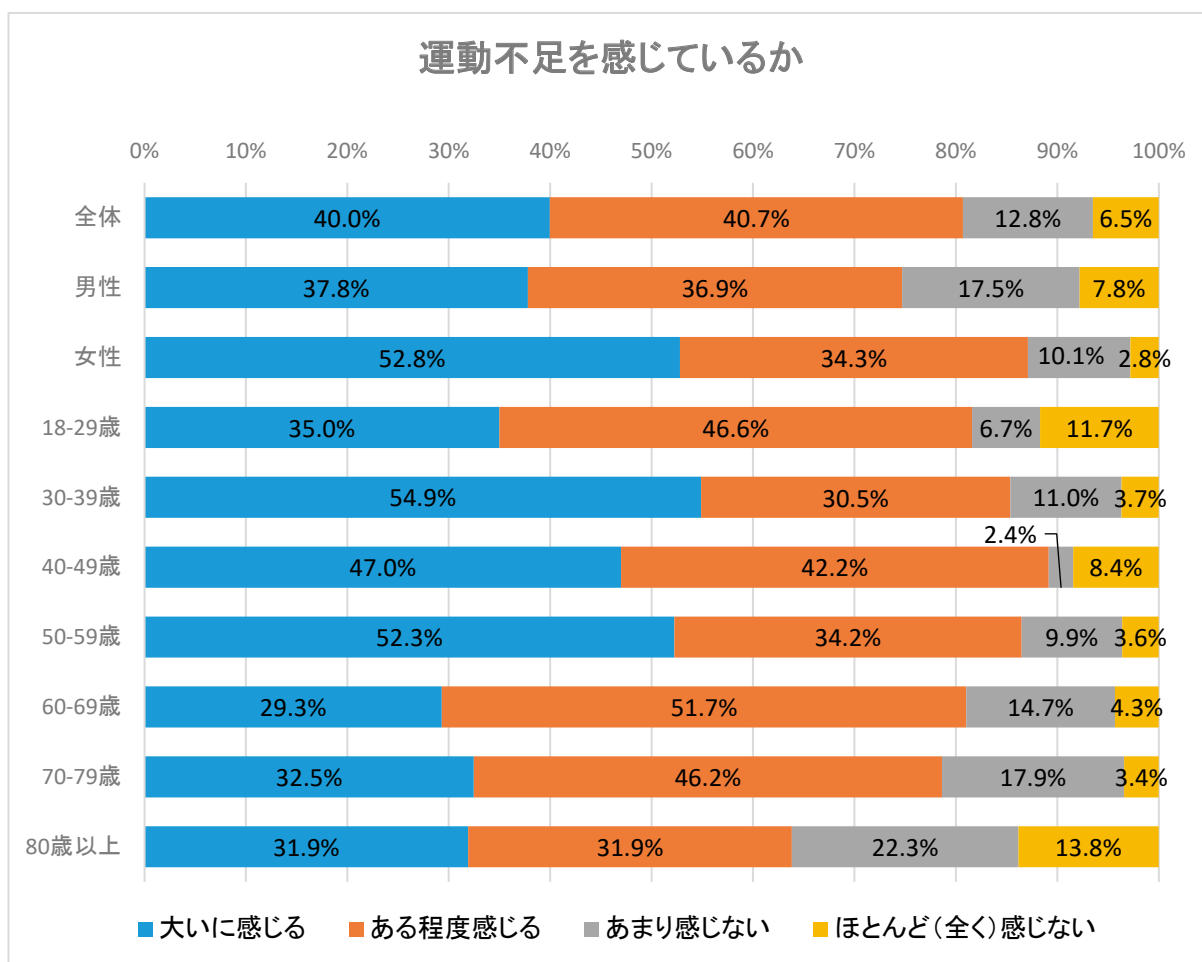


〔性別・年代別傾向〕

性別では、「していない」が女性で 41.5%となっており、女性に比べ男性の方が運動やスポーツの実施頻度が高くなっています。年代別の週 1 回以上運動している人では 70 歳代 56.9%と最も高く、次いで 20 歳代以下 51.6%となっている一方で 50 歳代が 29.1%と最も低い結果となりました。

（２）ふだん運動不足を感じているか。

全体で「大いに感じる」40.0%、「ある程度感じる」40.7%と、合わせた『感じる』が 80.7%となっています。男性に比べ女性が運動不足を感じている比率が高くなっています。



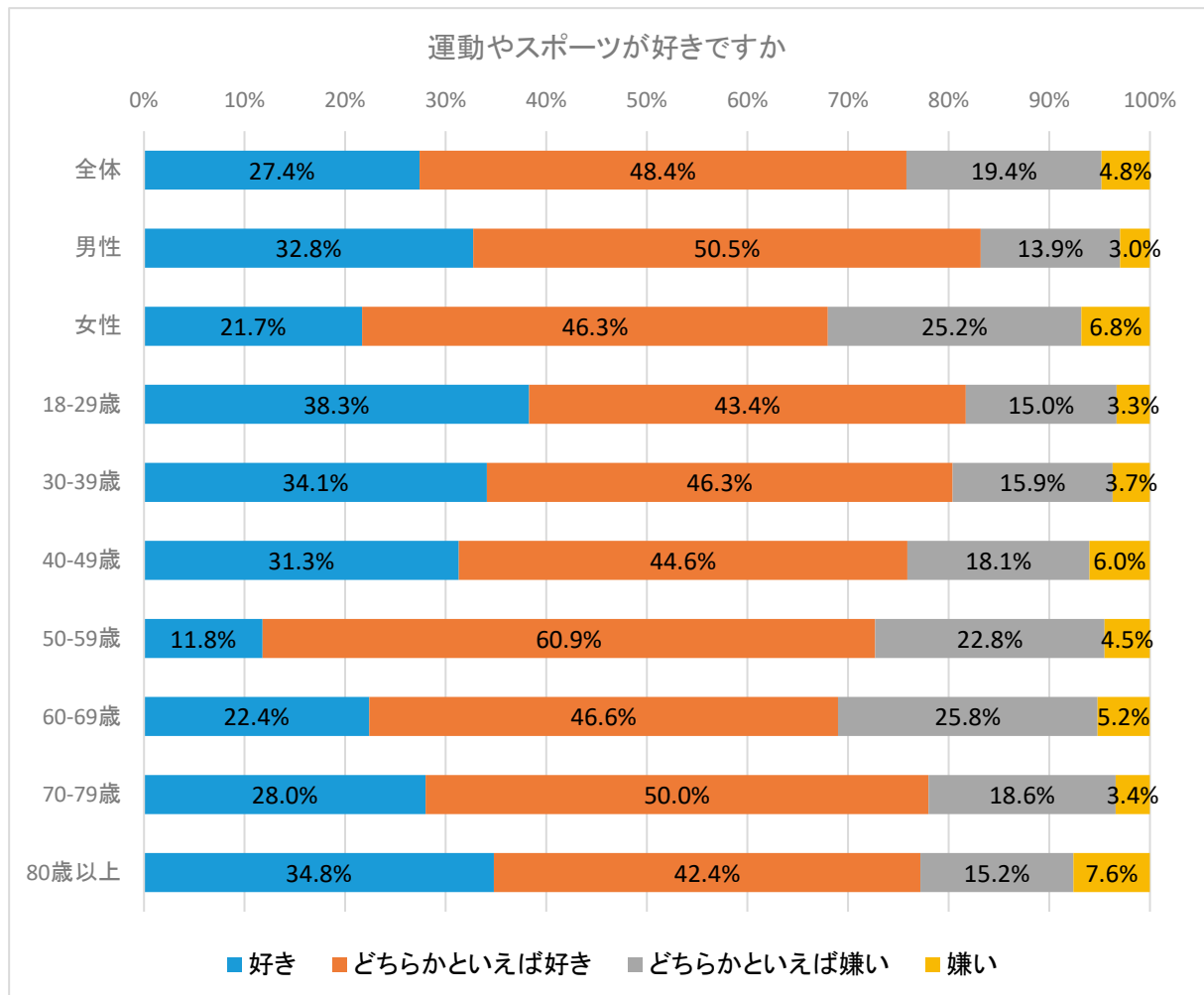
〔性別・年代別傾向〕

性別では、「大いに感じる」「ある程度感じる」と答えた男性が合わせて 74.7%、女性が 87.1%、「あまり感じない」「ほとんど感じない」と答えた男性が合わせて 25.3%、女性が 12.9%で男女ともに運動不足を感じている方の比率がかなり高くなっています。

年代別では、20 歳代以下から 60 歳代において運動不足を感じている人が 80%を超えており、70 歳代も 78.7%と高い比率とりました。一方で 80 歳以上は 63.8%に留まりました。

（３）運動やスポーツ活動など体を動かすことが好きですか

全体で「好き」27.4%、「どちらかといえば好き」48.4%を合わせた『好き』が75.8%、「嫌い」4.8%、「どちらかといえば嫌い」19.4%を合わせた『嫌い』が24.2%となっており、体を動かすことが好きな人のほうが高い比率となっています。



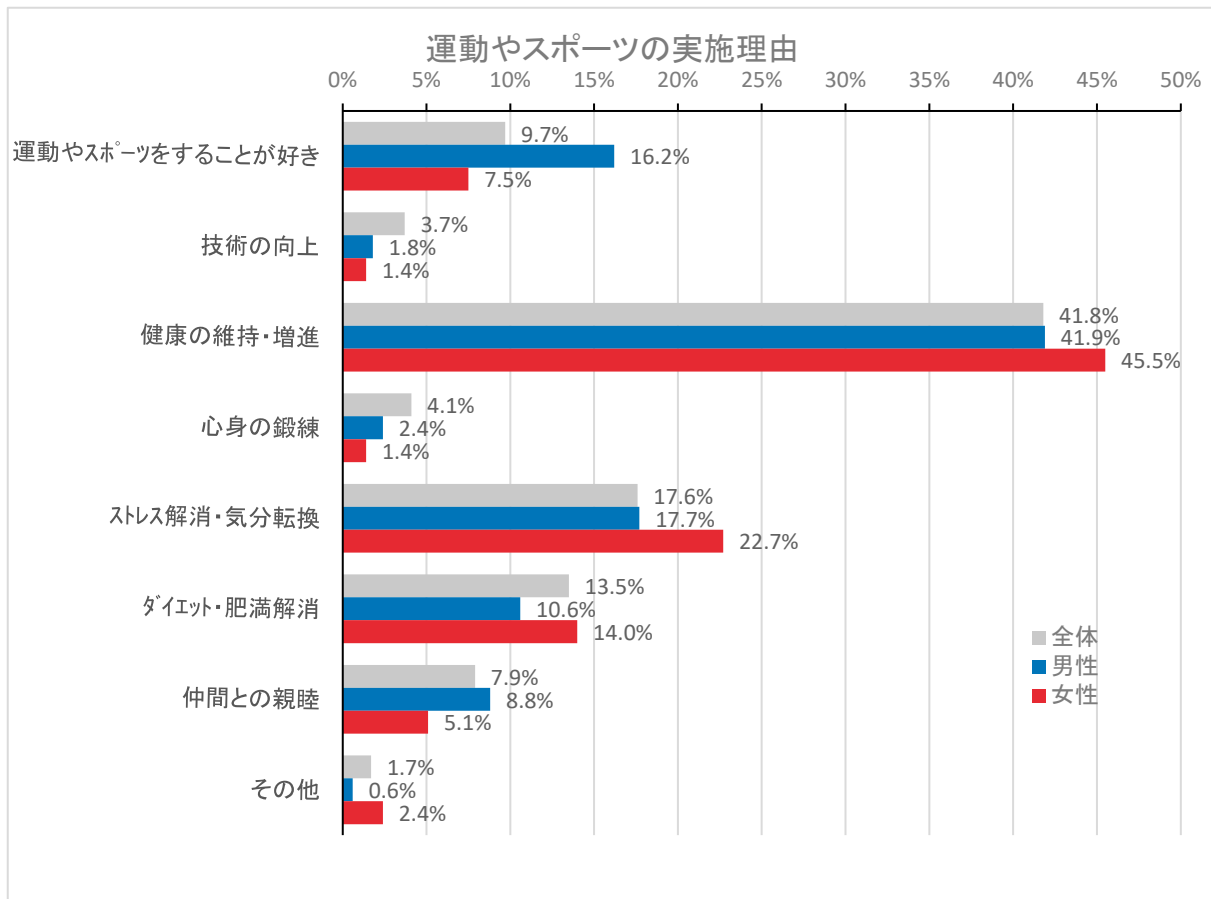
〔性別・年代別傾向〕

性別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』と答えた男性が83.3%となっており、女性の『好き』68.0%に比べ高い比率となっています。

年代別では18～29歳が『好き』81.7%と最も高く、30歳代が80.4%、40歳代が75.9%、50歳代が72.7%、60歳代が69.0%、70歳代が78.0%、80歳以上が77.2%となっており、60歳代が最も低い比率となっています。

（４）運動・スポーツをする理由はなんですか。

全体で「健康の維持・増進」41.8%、「ストレス解消・気分転換」17.6%、「ダイエット・肥満解消」13.5%、「運動・スポーツをすることが好き」9.7%、以下「仲間との親睦」「心身の鍛錬」「技術の向上」となっています。



年代別区分	18-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80 歳以上
運動やスポーツをすることが好き	0.0%	15.5%	14.1%	11.3%	9.9%	8.4%	5.1%
技術の向上	25.8%	2.1%	2.2%	0.0%	2.0%	0.8%	0.0%
健康の維持・増進	4.8%	27.8%	32.5%	44.9%	57.4%	56.4%	53.2%
心身の鍛錬	24.3%	3.1%	2.2%	1.3%	0.0%	2.5%	2.5%
ストレス解消・気分転換	1.6%	24.7%	28.3%	18.8%	16.8%	14.3%	13.9%
ダイエット・肥満解消	25.8%	18.6%	18.5%	19.9%	8.9%	5.9%	2.5%
仲間との親睦	12.9%	7.2%	2.2%	2.5%	3.0%	10.9%	19.0%
その他	4.8%	1.0%	0.0%	1.3%	2.0%	0.8%	3.8%

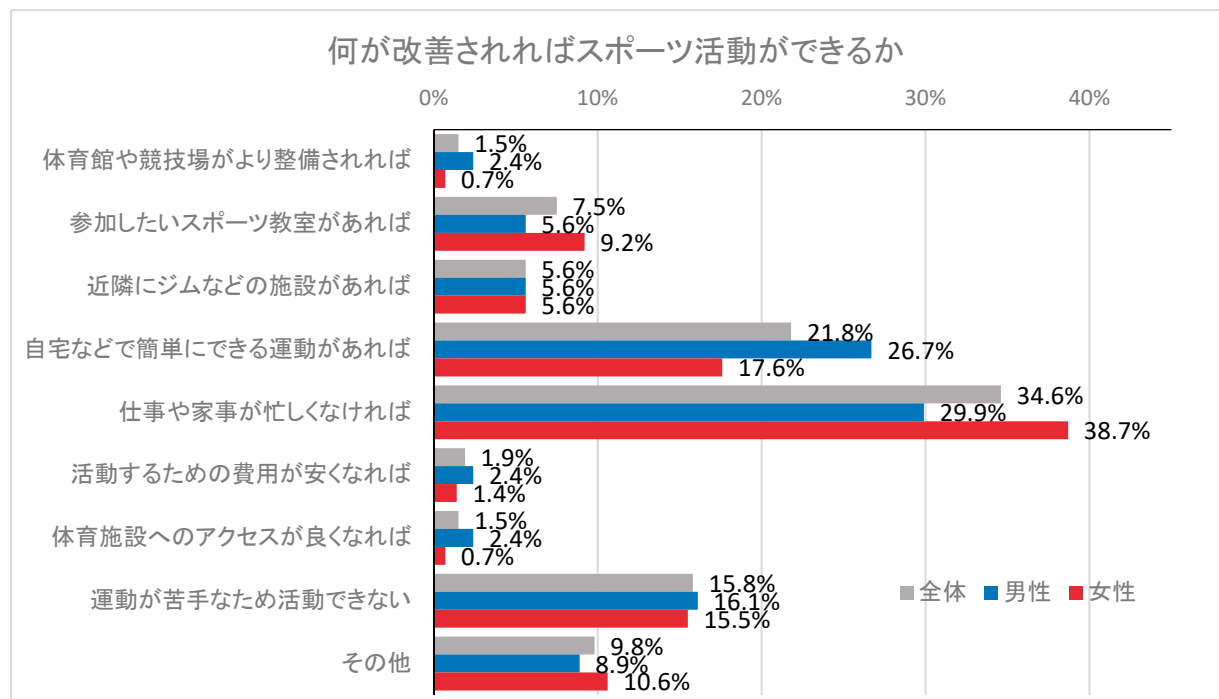
※20%以上の回答……

〔年代別傾向〕

20歳代以下では、「技術の向上」「ダイエット・肥満解消」が25.8%と多くなっていますが、30歳代からは「健康の維持・増進」のため取り組む人が増える傾向にあります。

（５）どのような条件・環境であれば運動・スポーツ活動をすることが可能か

全体でみると「仕事や家事が忙しくなければ」と答えた人が 34.6%で最も高く、「自宅などで簡単にできる運動があれば」が 21.8%、「運動が苦手なため活動できない」が 15.8%等が上位の順となっています。



年代別区分	18-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80 歳以上
体育館や競技場がより整備されれば	11.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.7%
参加したいスポーツ教室があれば	5.6%	14.3%	0.0%	9.7%	4.7%	8.2%	8.1%
近隣にジムなどの施設があれば	5.6%	7.1%	3.4%	4.8%	9.3%	2.0%	8.1%
自宅などで簡単にできる運動があれば	11.1%	21.4%	13.8%	16.1%	27.9%	30.7%	24.4%
仕事や家事が忙しくなければ	38.8%	46.4%	65.6%	38.7%	27.9%	28.6%	8.1%
活動するための費用が安くなれば	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%
体育施設へのアクセスが良くなれば	5.6%	0.0%	0.0%	1.6%	2.3%	0.0%	2.7%
運動が苦手なため活動できない	16.7%	7.1%	6.9%	12.9%	20.9%	22.4%	18.9%
その他	5.6%	3.6%	10.3%	8.1%	7.0%	6.1%	27.0%

※20%以上の回答……

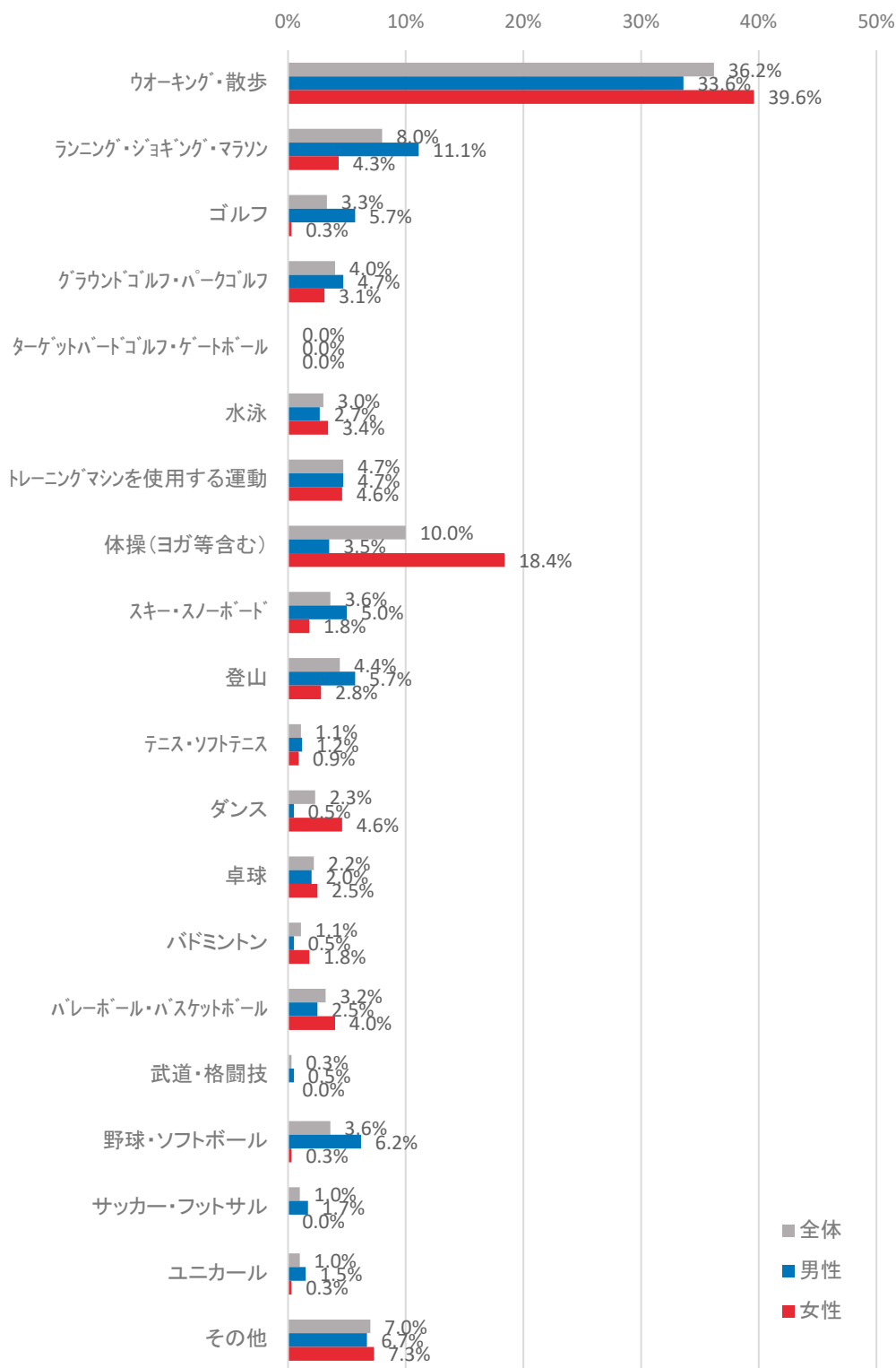
〔年代別傾向〕

20歳代以下から70歳代までは「仕事や家事が忙しくなければ」、30歳代および60歳代から80歳以上までは「自宅などで簡単にできる運動があれば」と答えた比率が大部分を占めています。

(6) どのような運動・スポーツ活動をしていますか。

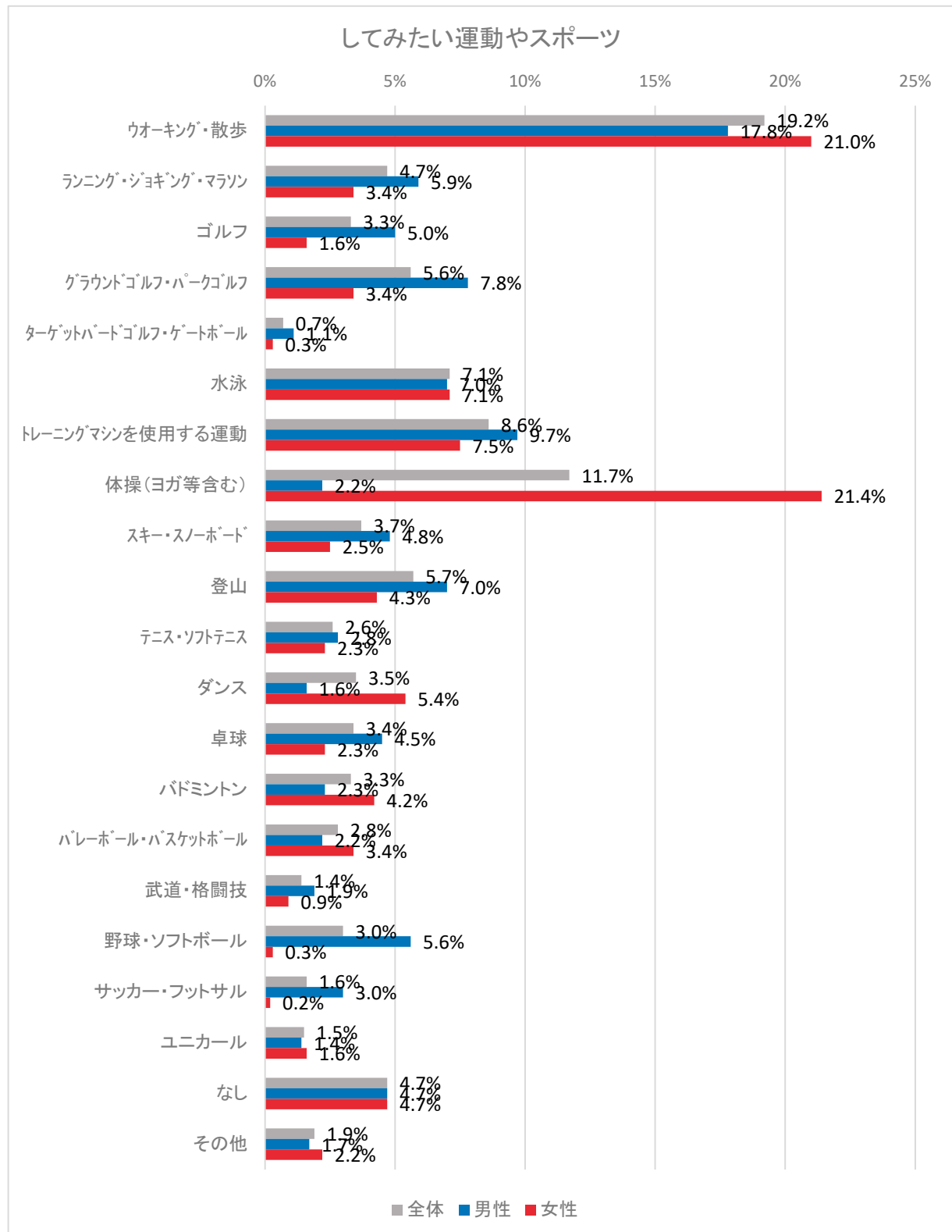
男女ともに「ウォーキング・散歩」を行っている人が最も多く、全体では36.2%となっています。次いで男性は「ランニング・ジョギング・マラソン」11.1%となっていて、女性は「体操（ヨガ等含む）」が18.4%と2番目に高い比率となっています。

現在行っている運動・スポーツ



(7) どのような運動・スポーツをしたいですか

「現在行っている運動・スポーツ」と同じく「ウォーキング・散歩」が全体では19.2%と最も多くなっています。女性は「体操（ヨガ等含む）」が最も高く、以降「ウォーキング・散歩」、「トレーニングマシンを使用する運動」の順となっていて、男性は「ウォーキング・散歩」が最も高く、以降「トレーニングマシンを使用する運動」、「グラウンドゴルフ・パークゴルフ」の順に比率が高くなっています。



2 体育施設の状況

(1) 市体育施設の概要

No.	施設名	所在地	概要
1	鷹巣体育館	鷹巣字東中岱 11 番地	本館体育室：1,170 m ² バスケットコート 2 面 サブ体育室：505 m ² バスケットコート 1 面
2	合川体育館	李岱字下豊田 25 番地	体育室：1,230 m ² バスケットコート 2 面 2 階オープンスペース 234 m ²
3	森吉総合スポーツセンター	米内沢字七曲 172 番地	体育室：1,800 m ² バスケットコート 2 面 トレーニングルーム 60 m ²
4	阿仁体育館	阿仁水無字畑町東裏 130 番地	体育室：768 m ² バスケットコート 1 面
5	北健康増進センター	綴子字糠沢上谷地 301 番地 1	体育室：560 m ² バスケットコート 1 面
6	中央公園野球場	脇神字米ノ岱 27 番地 90	両翼 90m 中堅 120m
7	合川野球場	下杉字中嶋 70 番 2	両翼 97.5m 中堅 122m
8	森吉野球場	米内沢字七曲 93 番地	両翼 92m 中堅 120m
9	鷹巣陸上競技場	坊沢字上野 2 番地	3 種公認（全天候）
10	中央公園テニスコート	脇神字米ノ岱 27 番地 90	クレーコート 6 面
11	森吉農村広場テニスコート	米内沢字ヲツコ沢地内	クレーコート 2 面
12	市民プール	鷹巣字東中岱 21 番地 1	競泳：25m×13m（6 コース） 歩行：17m×2.5m（1 コース） 潜水：直径 4M 水深 4m 幼児：11m×3.5m トレーニングルーム 190.96 m ²
13	合川プール	李岱字下豊田 5 番地	一般用：25m×13m（6 コース） 低学年：10m×5m
14	薬師山スキー場	今泉字鳥越 13 番地 1 から 4	T バーリフト 2 基、照明
15	湯口内スキー場	阿仁水無字湯口内 298 番地 2 外	T バーリフト 2 基、照明
16	松森スキー場	阿仁幸屋渡字山根 46 番地 7 外	T バーリフト 1 基、照明
17	合川ゲートボール場	上杉字金沢 162 番地 1	屋外 4 面 屋内 1 面
18	高津森クロスカントリーコース	阿仁鍵ノ滝字鍵ノ滝 79 番地 18 外	全日本スキー連盟公認コース
19	森吉山阿仁スキー場	阿仁鍵ノ滝字鍵ノ滝 79 番地 2 外	ゴンドラ（6 人乗り）1 基 リフト（2 人乗り）2 基 最長コース：2,800m
20	米代河川緑地広場	鷹巣字南三ツ谷岱地内	野球場 1 面、ソフトボール場 1 面

(2) 体育施設等の利用状況

体育施設の利用状況を過去5年間で比較してみると、施設によって増減傾向が見られます。市民プールの利用者数は年々増加傾向にありますが、全体的に見た場合、施設や年度により利用者数にばらつきがあるものの、概ね減少傾向となっております。なお、スキー場の利用者数については、雪不足なども影響しているものと考えられます。

体育施設の利用状況

単位：人

No.	施設名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	鷹巣体育館	55,509	53,871	52,312	48,878	39,230
2	合川体育館	29,540	29,160	24,359	27,727	18,385
3	森吉総合スポーツセンター	16,207	18,510	15,761	15,765	14,128
4	阿仁体育館	2,842	2,756	2,268	1,170	1,398
5	北健康増進センター	9,808	8,515	9,133	9,095	7,721
6	中央公園野球場	23,265	23,632	14,650	12,858	8,701
7	合川野球場	3,410	4,056	4,680	3,111	3,212
8	森吉野球場	1,800	1,686	2,589	2,319	1,879
9	鷹巣陸上競技場	17,133	13,339	9,663	8,704	9,746
10	中央公園テニスコート	3,538	3,715	3,402	2,308	1,630
11	森吉農村広場テニスコート	1,850	1,140	1,642	1,745	1,580
12	市民プール	52,205	54,215	55,887	56,098	58,799
13	合川プール	6,018	4,678	4,362	4,146	3,951
14	薬師山スキー場	5,903	4,899	8,953	8,285	1,650
15	湯口内スキー場	608	638	574	165	131
16	松森スキー場	694	389	112	181	288
17	合川ゲートボール場 ※1	1,363	1,985	951	2,136	1,963
18	高津森クロスカントリーコース ※2	869	1,938	871	606	930
19	森吉山阿仁スキー場 ※3	52,350	52,856	46,844	30,725	48,150
20	米代河川緑地広場 ※4	2,109	1,911	1,790	230	-
合 計		287,021	283,889	260,803	236,252	223,472

※1 健康福祉部高齢福祉課所管施設 屋内コートのみ利用人数の計上となっています。

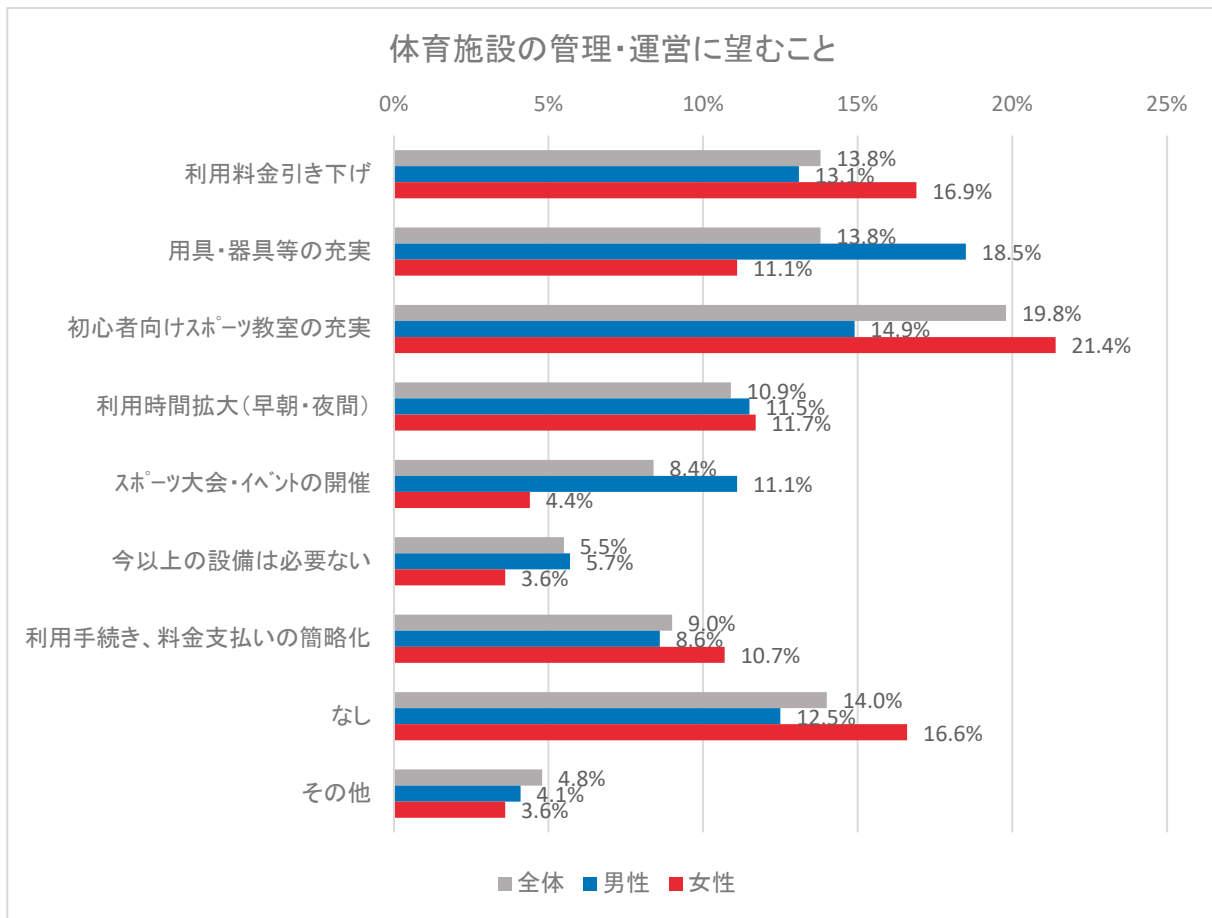
※2 産業部商工観光課所管施設

※3 産業部商工観光課所管施設

※4 令和元年度より建設部都市計画課所管施設

（３）市の体育施設について何を望みますか

全体では、「スポーツ教室の充実」、「利用料金引き下げ」、「用具・器具等の充実」、を挙げた人が多くなっています。特に女性で「スポーツ教室の充実」を望んでいる人が多く、男性では「用具・器具等の充実」を望んでいる人が多くなっています。



年代別区分	18-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80 歳以上
利用料金引き下げ	0.0%	21.2%	17.6%	17.4%	10.2%	12.6%	11.5%
用具・器具等の充実	13.3%	18.5%	14.8%	15.9%	11.3%	11.4%	10.6%
スポーツ教室の充実	27.8%	9.3%	14.1%	17.4%	23.7%	26.2%	23.0%
利用時間拡大	6.7%	15.3%	15.5%	14.9%	10.2%	6.6%	2.7%
スポーツ大会・イベントの開催	15.6%	9.9%	12.0%	3.5%	7.5%	7.2%	8.0%
設備増は必要ない	11.1%	2.6%	3.5%	3.0%	5.9%	7.8%	8.0%
手続き等の簡略化	2.2%	10.6%	7.7%	12.9%	11.3%	8.4%	4.4%
なし	8.9%	8.6%	9.2%	12.9%	16.7%	15.0%	27.4%
その他	14.4%	4.0%	5.6%	2.1%	3.2%	4.8%	4.4%

※20%以上の回答……

3 スポーツ推進委員の役割と現状

スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法第32条に定められた、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う委員であり、北秋田市では令和2年4月1日現在で36名の方に委嘱を行い、北秋田市の運動・スポーツの推進に携わっていただいております。また、スポーツ推進委員主催や市主催の各種イベント事業等の開催運営の実施や運動・スポーツの資質向上を図る目的で、多くの研修会に参加しています。

スポーツ推進委員が参加する研修等（平成30年度から令和2年度）

No.	研修会・講習会等名称
1	全国スポーツ推進委員研究協議会
2	東北地区スポーツ推進委員研修会
3	秋田県スポーツ推進委員研究大会
4	秋田県女性スポーツ推進委員交流のつどい
5	秋田県スポーツ推進委員初任者研修会
6	元気アップ運動機会拡充事業研修会（県スポーツ科学センター主催）
7	大館北秋田スポーツ推進委員協議会研修会

スポーツ推進委員が主管、協力している事業（平成30年度から令和2年度）

No.	事業名	役割・活動
1	河田杯マラソン	競技委員として運営に携わる。
2	なわとび大会	主催事業として企画運営を行う。
3	体力テスト	秋田県からの委託を受け測定記録を行う。
4	バランスボール教室（年3～6回）	主催事業として開催、運営指導を行う。
5	ながなわとび大会	主催事業として企画運営を行う。
6	北秋田市民スキー大会	競技委員として運営に携わる。
7	北秋田学童スキー大会	競技委員として運営に携わる。
8	県民歩くスキーのつどい	競技委員として運営に携わる。

4 運動・スポーツの課題

スポーツ推進に関する市民意識調査結果から分析しました市民のスポーツへ対する意識や本市で抱えておりますスポーツに関する課題についての実施施策は、次章で展開します。

1) スポーツ環境の充実への課題

市内の体育施設については、多くが建設から年数が経過していることから、幼児から高齢者まで幅広い年齢に応じた利用者の安全確保を図るためにも、施設の改修や施設の整備、社会構造の変化によるスポーツ施設の配置や統廃合等が課題となっています。

2) 生涯スポーツの推進への課題

市民意識調査結果から 18 歳以上～20 歳代や 60 歳代以上は運動頻度が高く、30 歳代～50 歳代は運動頻度が低くなる傾向があります。また、どのような運動・スポーツ活動をしているか、どんな運動がしたいかについては、「ウォーキング・散歩」、「体操（ヨガ等を含む）」、「ランニング・ジョギング・マラソン」、「トレーニングマシンを使用する運動」などが多くなっていて、個人の時間を有効利用しやすい運動・スポーツが人気となっていることがわかります。運動・スポーツをしたいができない理由として「仕事や家事が忙しくなければ」が多く、忙しい中で運動ができるようなアプローチが必要となってきます。

高齢者スポーツにおいては、総合型地域スポーツクラブや老人クラブにより各種大会が実施されていますが、介護予防のための運動処方が求められるなどニーズが多岐にわたっていることから、年代や世代にあった運動・スポーツに関する情報提供等により、いつでも、どこでもスポーツに取り組むことができる環境の充実を図ることが必要となります。

3) スポーツを通じた地域活性化への課題

令和元年度で 7 回目の参加となりますチャレンジデーについては、平成 30 年～令和 2 年までの北秋田市スポーツ推進計画の目標指標として、参加率 65%継続を目標に取り組みを進めてきましたが、令和元年度で 62.62%の結果となっていることから、市民の運動・スポーツに対する満足度を向上させていく施策が必要となってきます。また、令和 2 年 9 月に文部科学省より「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が示されたことにより、今後、平日に学校の部活動として行われる学校部活動と、休日において地域で行われる地域部活動との連携を図ることも視野に入れ、望ましい部活動の実現のため、地域スポーツの人材育成・スポーツ環境の整備について取り組みます。

4) 競技スポーツの向上への課題

スポーツ少年団への活動補助や全国大会等へ出場する団体・個人への補助金等の交付事業を展開しておりますが、人口減少や少子高齢化により団体競技においては必要人数を確保することが困難な状況になりつつある現状から子どもがスポーツに楽しさを感じ、取り組むことができる機会の充実を図る必要があります。

第3章 目指す姿と基本目標

1 目指す姿

「スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田」

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心等の精神の涵養等の身体活動と捉えられており、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人の権利とされております。

スポーツを「する」ことで「楽しさ」「喜び」を得られ、心身の健康増進や生きがいに満ちた生き方を実現していくことができます。

スポーツを「みる」ことで「感動」し「活力」が得られ、応援することにより「する」人の力になることができます。

スポーツを「ささえる」ことで、多くの人が交わり「共感」し合うことにより社会の絆が強くなっていきます。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことによる、「健康で活力ある長寿社会の実現」、「子ども、高齢者、障がい者、女性、外国人などを含め全ての人々が分け隔てのない共生社会の実現」、「人口減少や高齢化が進む中での地域経済の活性化」を推進し、『スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田』を目指します。



2 基本目標

本市の第2次総合計画に連動した変更や「本市を取り巻くスポーツの現状と課題」を踏まえ、基本目標である数値目標を定め、取り組みを推進します。

(1) スポーツ環境の充実

幅広い年代・性別の市民が、体力や興味・目的に応じて様々なスポーツに親しみ、より身近なものとして感じられるよう、スポーツ推進委員との連携や既存施設・器具等の修繕や更新を行い、市民の多様なニーズへの対応し、安全・安心で有効的にスポーツができる環境の充実に取り組みます。

【具体的な施策】

- 老朽化施設の整備計画の策定
- 多様なニーズに応じた施設環境の整備
- 施設の管理運営と有効活用の推進
- スポーツに関する各種情報の提供
- スポーツ推進委員活動の充実

【数値指標】

運動・スポーツに対する満足度（調査年度）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和7年度
60.4%	65.7%	60.3%	70.0%

(2) 生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化

スポーツ活動に親しむ機会と場の提供やパラスポーツの環境の充実・周知を行うことにより関心を高め、生涯スポーツの推進に取り組みます。また、市民が積極的にスポーツに親しむため、100キロチャレンジマラソンへの支援や「チャレンジデー」の参加推進による、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。

【具体的な施策】

- 運動・スポーツの教室開催や活動推進
- ニュースポーツの普及
- 高齢者のスポーツ参加推進
- パラスポーツの支援
- 体育協会の活動支援
- 総合型地域スポーツクラブの支援
- チャレンジデーへの参加
- スポーツ・レクリエーション大会等の開催
- 2020東京オリンピック・パラリンピックやスポーツイベントの活用
- 地域スポーツ・文化環境の整備の推進

- スポーツ・文化合宿の誘致
- 100キロチャレンジマラソンへの支援

【数値指標】

週1回以上運動・スポーツをする市民の割合（調査年度）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和7年度
41.1%	35.6%	43.3%	50.0%

（3）競技スポーツの向上

多様化するスポーツ活動を取り巻く環境において、子どもが積極的に運動・スポーツに親しむためスポーツ少年団への支援及び指導者の育成・確保を充実させ、また、スポーツ・文化等合宿誘致事業により、交流人口の拡大と競技力向上を図ります。

【具体的な施策】

- 高校生以下アスリート等の発掘・育成・支援事業の展開
- スポーツ指導者の育成とトップアスリートの活用推進
- スポーツ少年団の養成・育成
- 全国大会等のスポーツ大会への出場支援

【数値指標】

スポーツ・文化活動等に係る合宿誘致数【単年】（実績年度）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和7年度
延べ238名 1団体	延べ315名 2団体	延べ166名 1団体	延べ500名 5団体



第4章 施策の展開

前章の運動・スポーツの課題を踏まえ、実施施策の展開を行います。前計画の実施施策を継承しつつ、一部修正や新規施策を追加し展開しています。

1 スポーツ環境の充実

(1) スポーツ施設の整備・充実

事業	概要
老朽化施設の整備計画の策定【継続】	体育施設の長寿命化計画の策定により、あらゆる運動・スポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を安全・安心に利用できるよう施策に取り組みます。
多様なニーズに応じた施設環境の整備【継続】	子ども、成人、高齢者と年代・世代によって異なる多様なニーズにあったスポーツ用具の整備や、利用時間帯について弾力的な運用を図るなど利用環境を整備します。また、パークゴルフ場などのスポーツ施設を併せ持つ、北欧の杜公園や大館能代空港周辺ふれあい緑地など県有施設の利用について関係団体等と協議体制の構築を引き続き図ります。

(2) 適正施設管理・スポーツ関連の情報提供

事業	概要
施設の管理運営と有効活用の推進【継続】	体育施設の予約状況を市ホームページにて周知し、市民の利便性向上の継続を目指します。
スポーツに関する各種情報の提供【継続】	市ホームページの更新や多様化する情報媒体を活用し、体育施設の情報提供やイベント・スポーツ教室の開催情報、市出身選手の活躍等、多様な情報の発信を継続します。

(3) 運動・スポーツ指導者の養成

事業	概要
スポーツ推進委員活動の充実【継続】	スポーツ推進委員の資質向上のため積極的な研修会等への参加支援や体力テスト・スポーツ実態調査を行い、その結果を共有しながら市民のニーズに合わせたスポーツ実施率向上のための取り組みの推進を継続します。

2 生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化

(1) 市民のスポーツ機会の充実

事業	概要
運動・スポーツの教室開催や活動推進【継続】	日ごろスポーツや健康増進に取り組むことができない成人（育児・就業）世代が、身近で気軽にスポーツ等に親しむことや習慣化することができるよう、志向や時間帯に応じた各種教室等を開催や忙しい中でも行える運動・スポーツの周知等により、活動機会の充実を図ります。
ニュースポーツの普及【継続】	市スポーツ推進委員による体験イベント等を開催し交流の場を提供することで、ニュースポーツの普及活動に引き続き取り組みます。
高齢者のスポーツ参加推進【継続】	医療健康課や高齢福祉課と連携し、ウォーキング実施や「チャレンジデー」に高齢者が参加しやすい体制整備を継続して実施する。
パラスポーツの支援【継続】	関係部署と連携し、障がいのある方々のスポーツの「する」「みる」に対する環境の充実とパラスポーツの周知について検討します。

(2) スポーツ関係団体の養成・育成

事業	概要
体育協会の活動支援【継続】	競技スポーツ大会やスポーツ・レクリエーション大会、スポーツ教室の開催やスポーツに関する専門知識、指導力のある事業を展開することにおいて、体育協会等と連携するとともに支援を継続し団体の育成を引き続き目指します。
総合型地域スポーツクラブの支援【継続】	生涯スポーツ社会の実現に向け、子供から高齢者までが様々なスポーツができる存在として、住民への参加促進と総合型地域スポーツクラブの自主的な運営を促進する環境整備についての支援を継続して取り組みます。

(3) スポーツを活用した地域づくりの推進

事業	概要
チャレンジデーへの参加【継続】	毎年5月最終水曜日に開催される、住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加を継続し、地域の絆、職場や学校の連帯感の醸成や運動習慣の浸透を図る取り組みを継続します。
スポーツ・レクリエーション大会等の開催【継続】	毎年開催されているスポーツ・レクリエーション大会について、体育協会や協会加盟競技団体と連携しながら継続します。
2020 東京オリンピック・パラリンピックやスポーツイベントの活用【継続】	2020 東京オリンピック・パラリンピックを始めとするイベント等の開催に伴う地域活性化の継続を図ります。
地域スポーツ・文化環境の整備の推進【新規】	令和2年9月に文部科学省より「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が示されたことにより、今後、平日に学校の部活動として行われる学校部活動と、休日において地域で行われる地域部活動との連携を図ることも視野に入れ、望ましい部活動の実現のため、地域スポーツの人材育成・スポーツ環境の整備について取り組みます。

(4) スポーツによる交流人口の拡大

事業	概要
スポーツ・文化合宿の誘致【継続】	市外スポーツ団体や文化活動団体等の合宿誘致を行い、合宿費用に対し補助金による支援を行うことにより、スポーツ交流人口の拡大が図られるため、合宿誘致の推進を継続します。
100キロチャレンジマラソンへの支援【継続】	北秋田市最大の集客力を誇るイベントとして定着した100キロチャレンジマラソンは、市内外から参加する選手と応援・ボランティアで大会に参加する住民との交流により地域に「賑わい」を創出しています。今後も実行委員会への支援を継続します。

3 競技スポーツの向上

(1) 競技力向上のための取り組み

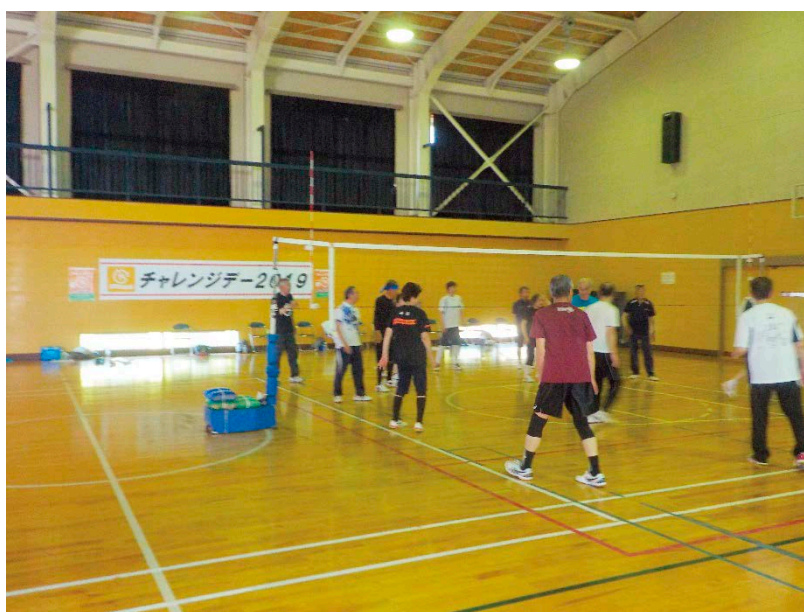
事業	概要
高校生以下アスリート等の発掘・育成・支援事業の展開【継続】	当市出身オリンピック選手による講習会の開催によりジュニアアスリート・中学生及び高校生の資質や技術の強化を図り、秋田県で取り組む「タレント発掘事業」との連携を目指します。

(2) スポーツ指導者の育成

事業	概要
スポーツ指導者の育成とトップアスリートの活用推進【継続】	本市出身選手等が現役を退いた後、指導者として活躍できるよう秋田県や他団体と連携しスポーツ教室の開催等による活用を目指します。

(3) スポーツ少年団等の支援

事業	概要
スポーツ少年団の養成・育成【継続】	子どもの健全育成の観点から、子どものスポーツ参加機会拡充のための方策やスポーツとの多様な関わり方ができる場の提供や助成金支援などスポーツへの参加促進に関する取り組みについて継続します。
全国大会等のスポーツ大会への出場支援【継続】	全国大会等のスポーツ大会へ出場するスポーツ少年団や、その他児童生徒に対し出場に関する支援を継続して行います。



資料

資 料

1 各委員名簿

スポーツ推進審議会委員（平成 31 年度～令和 2 年度）

役職	氏名	役職	氏名
会長	藤 嶋 健 一	委員	戸 島 昭 彦
副会長	成 田 昭 夫	〃	伊 東 健 一
委員	安 部 公 作	〃	佐 藤 郁 子
〃	松 橋 厚 生	〃	大 高 清 子
〃	岩 谷 忠 男	〃	嘉 藤 貴 子

スポーツ推進委員（平成 31 年度～令和 2 年度）

役職	氏名	出身地区	役職	氏名	出身地区
委員長	工 藤 清 一	合川	委員	藤 嶋 浩 子	合川
副委員長	成 田 肇	鷹巣	〃	松 橋 厚 生	合川
〃	鈴 木 静 子	森吉	〃	三 浦 昌 幸	合川
〃	伊 藤 範 行	阿仁	〃	吉 田 幸 子	合川
委員	齊 藤 富 美 雄	鷹巣	〃	石 川 千 恵 子	森吉
〃	櫻 井 幸 雄	鷹巣	〃	金 井 信 太 郎	森吉
〃	佐 藤 郁 子	鷹巣	〃	金 ゆ か り	森吉
〃	佐 藤 栄 子	鷹巣	〃	佐 々 木 禎 尚	森吉
〃	佐 藤 美 妃 子	鷹巣	〃	柴 田 甚 一 郎	森吉
〃	長 岐 賢 一	鷹巣	〃	菅 原 徹	森吉
〃	長 田 義 信	鷹巣	〃	戸 島 昭 彦	森吉
〃	畠 山 秀 光	鷹巣	〃	松 橋 清 浩	森吉
〃	藤 田 和	鷹巣	〃	松 橋 秀 規	森吉
〃	伊 藤 祥	合川	〃	大 高 清 子	阿仁
〃	木 村 浩 悦	合川	〃	木 村 謙 一	阿仁
〃	佐 藤 隆 男	合川	〃	佐 々 木 宗 純	阿仁
〃	佐 藤 俊 光	合川	〃	志 渡 正 敏	阿仁
〃	佐 藤 博 明	合川	〃	松 橋 悦 子	阿仁

2 アンケート結果

スポーツ推進に関する市民意識調査結果

1. 調査の目的

北秋田市スポーツ推進計画策定にあたり、市民のスポーツに関する考え及び実態を把握することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 北秋田市全域
- (2) 調査対象 北秋田市内に住所を有する満 18 歳以上の男女
- (3) 対象者数 1,400 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による調査票配布および回答用紙回収
- (6) 調査期間 令和 2 年 10 月 15 日から令和 2 年 11 月 8 日

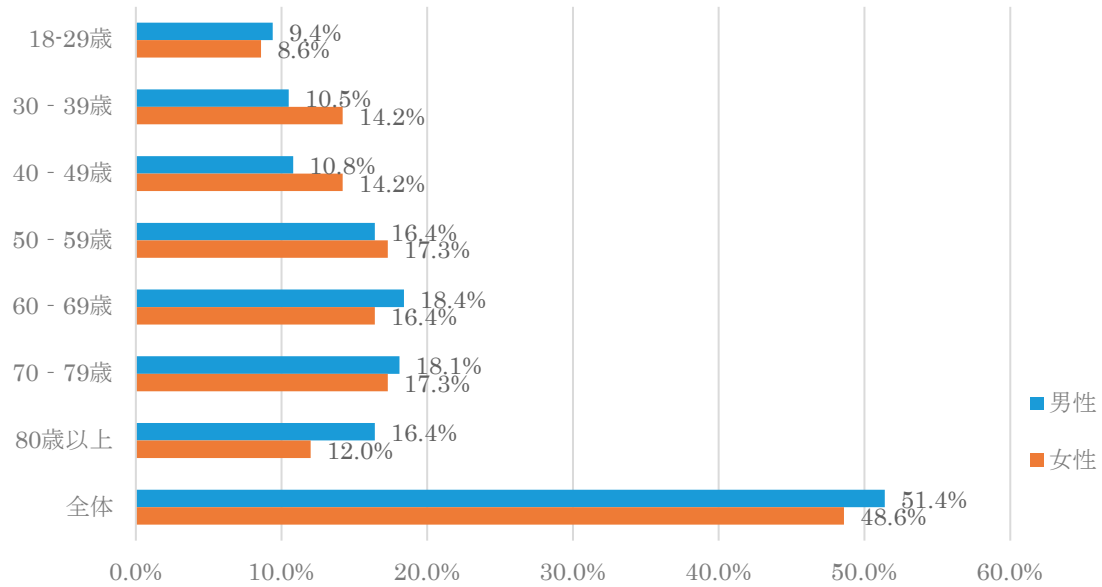
3. 回収結果

- (1) 回収数 666 人
- (2) 回収率 47.5%

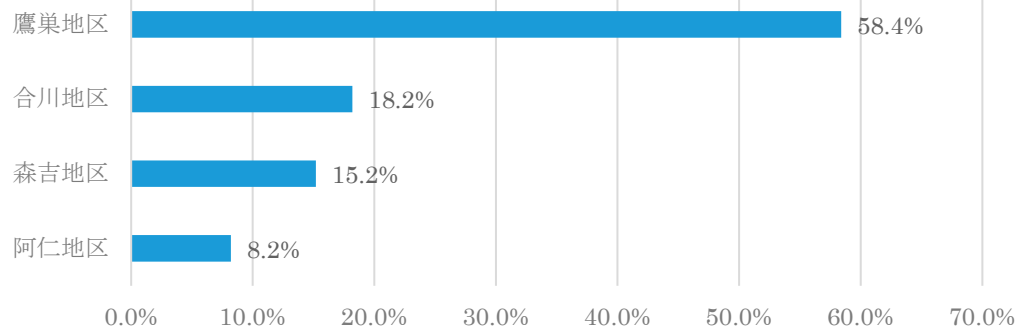
4. 集計方法

- (1) 集計にあたっては、小数第 2 位を四捨五入した。
- (2) 各設問の選択項目において、無回答については数値に含めず比率を算出した。
- (3) 回答の百分比(%)は、「回答数」を基数として算出した。複数回答を認める設問においては「回答者数」と「回答数」は必ずしも一致しない。

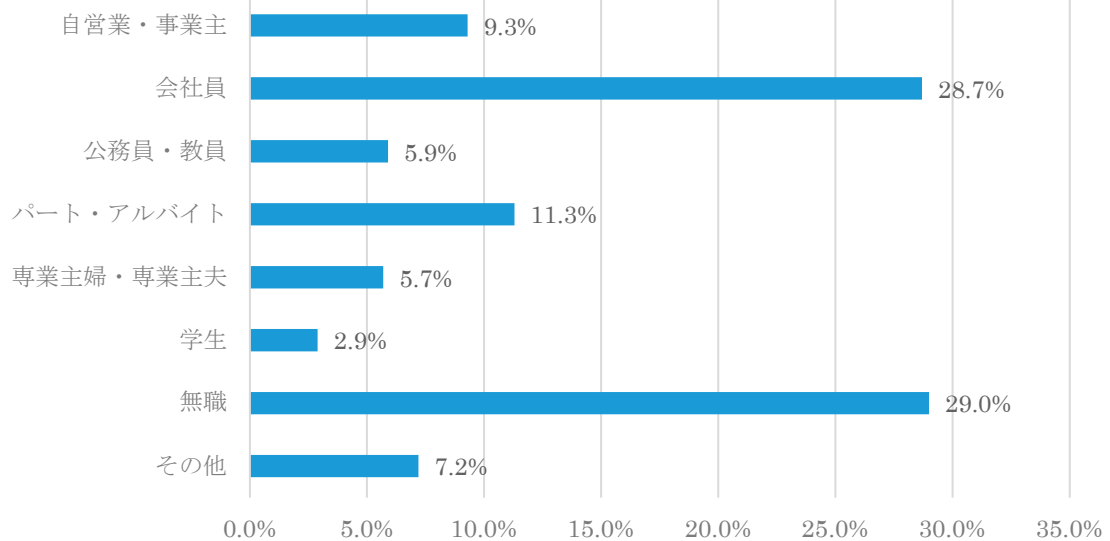
あなたの性別をお知らせください。
あなたの満年齢をお知らせください。

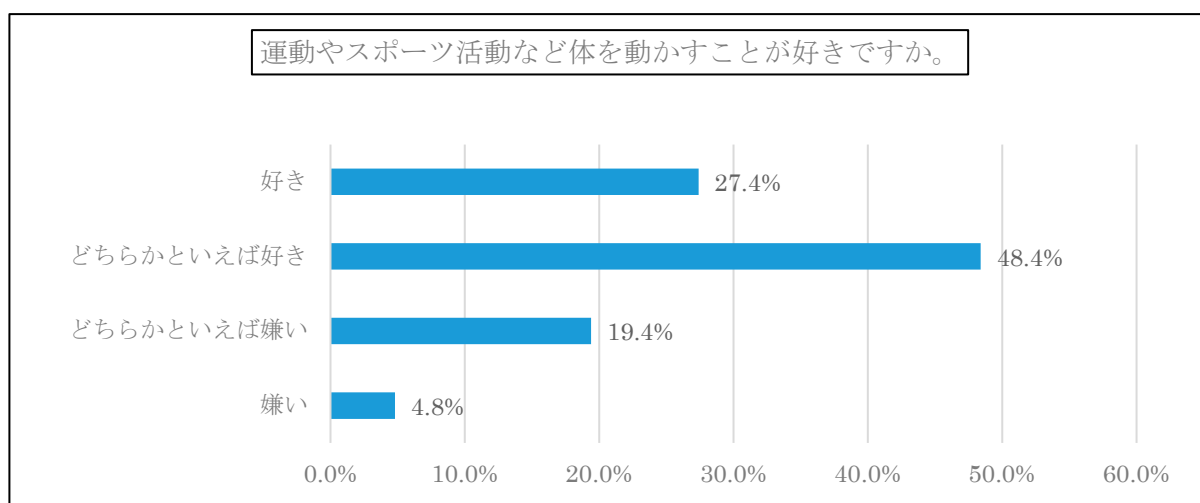
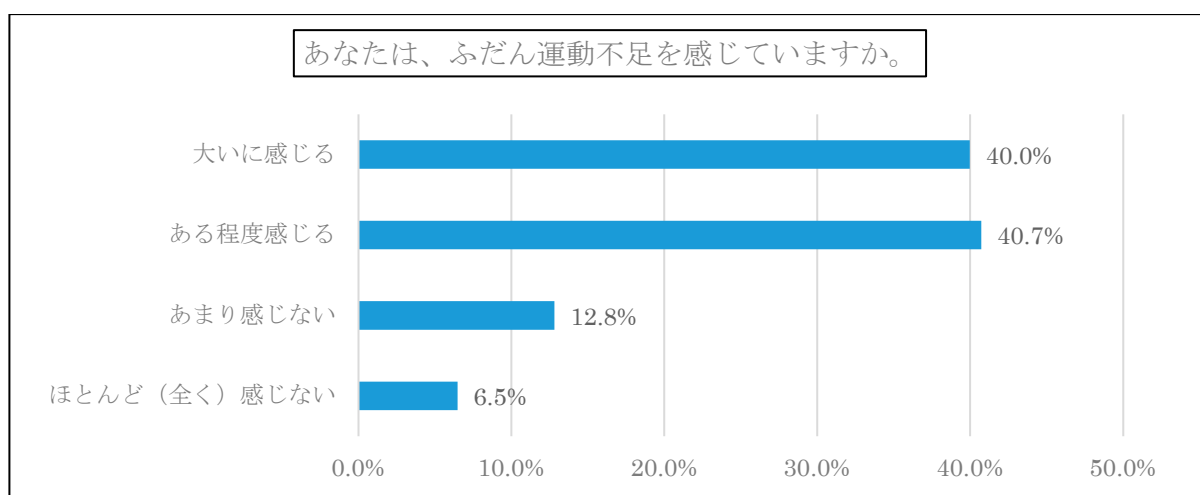
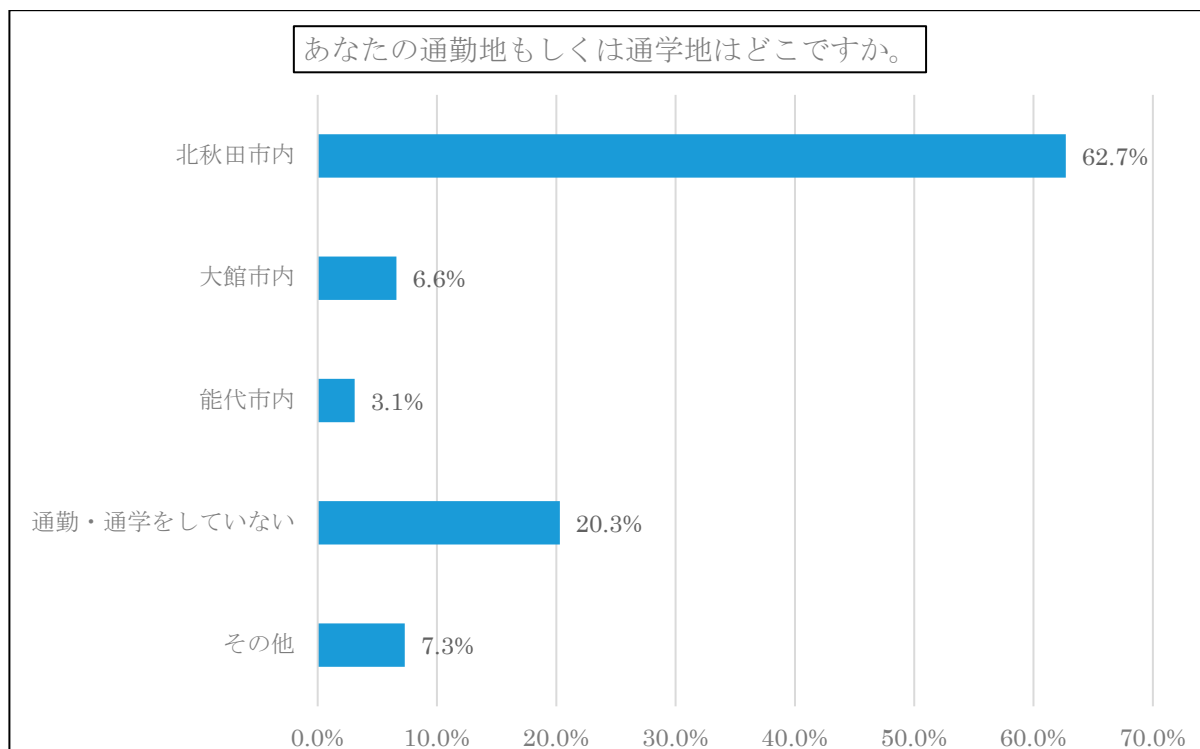


あなたがお住まいになっている地区はどこですか。

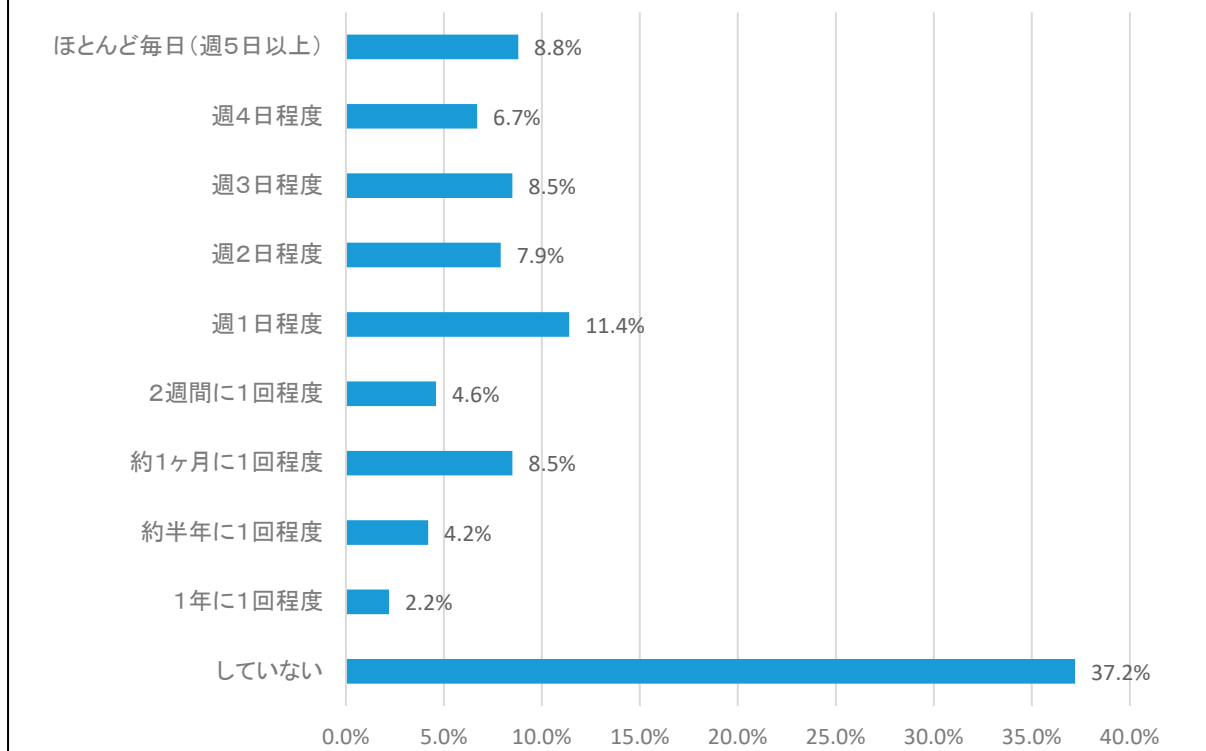


あなたのご職業（主たる収入源）はどれですか。

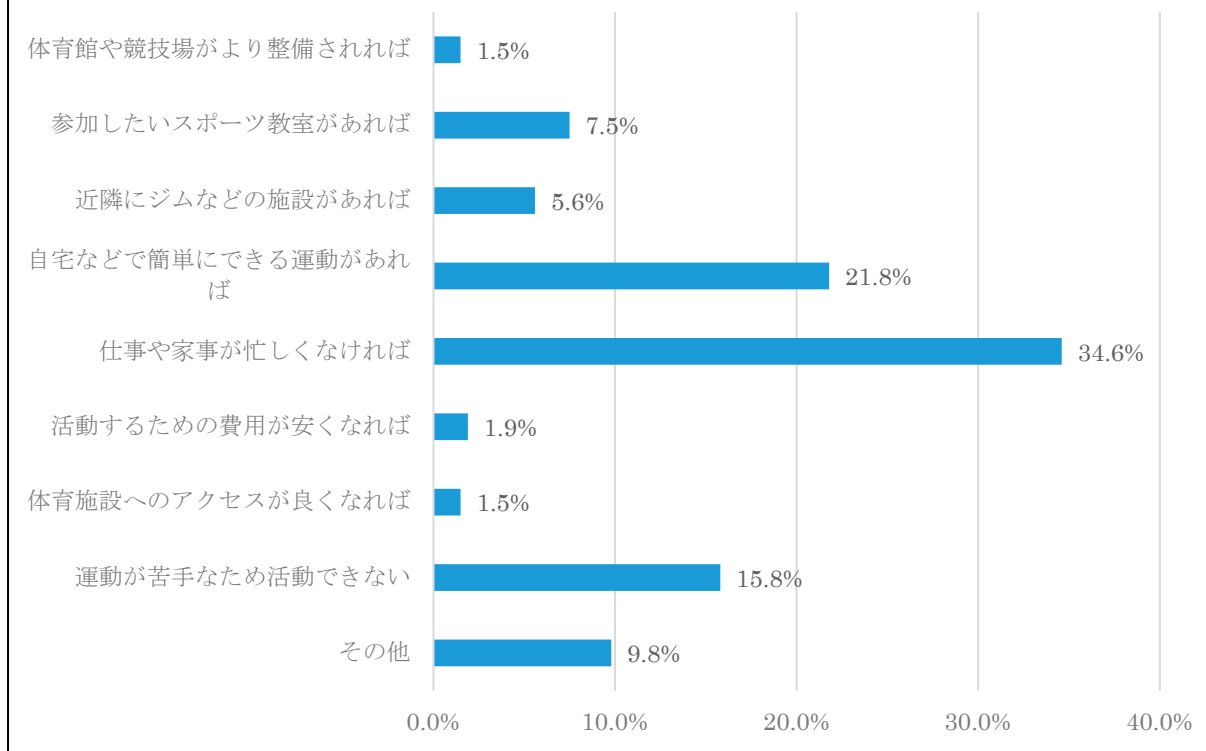


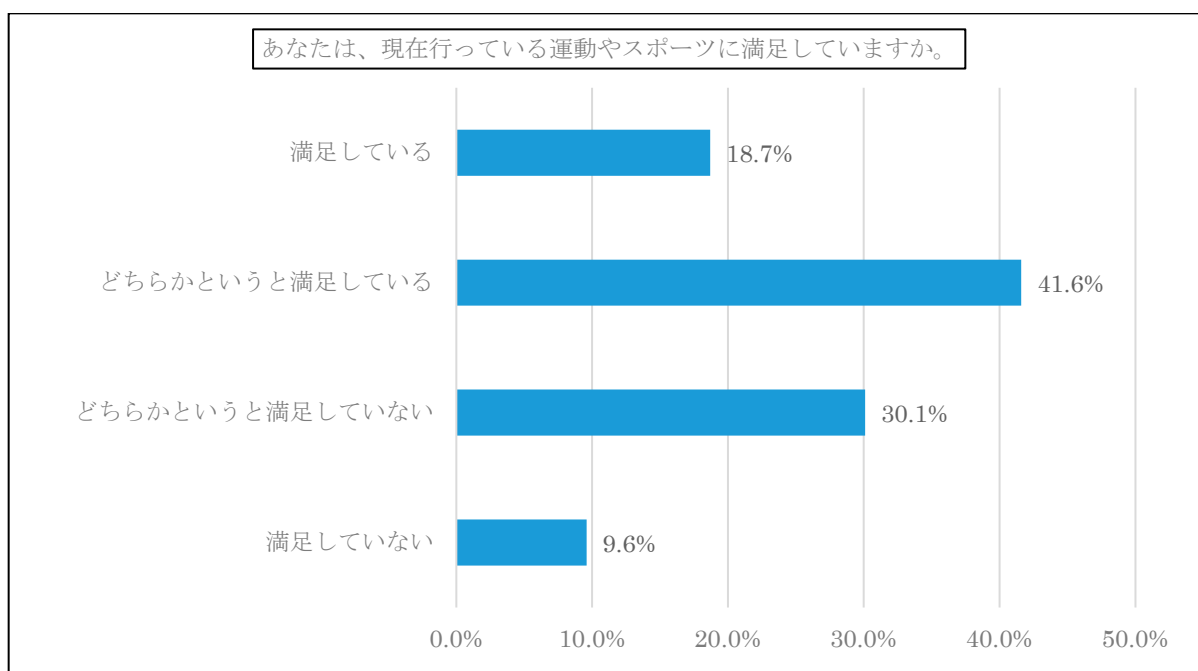
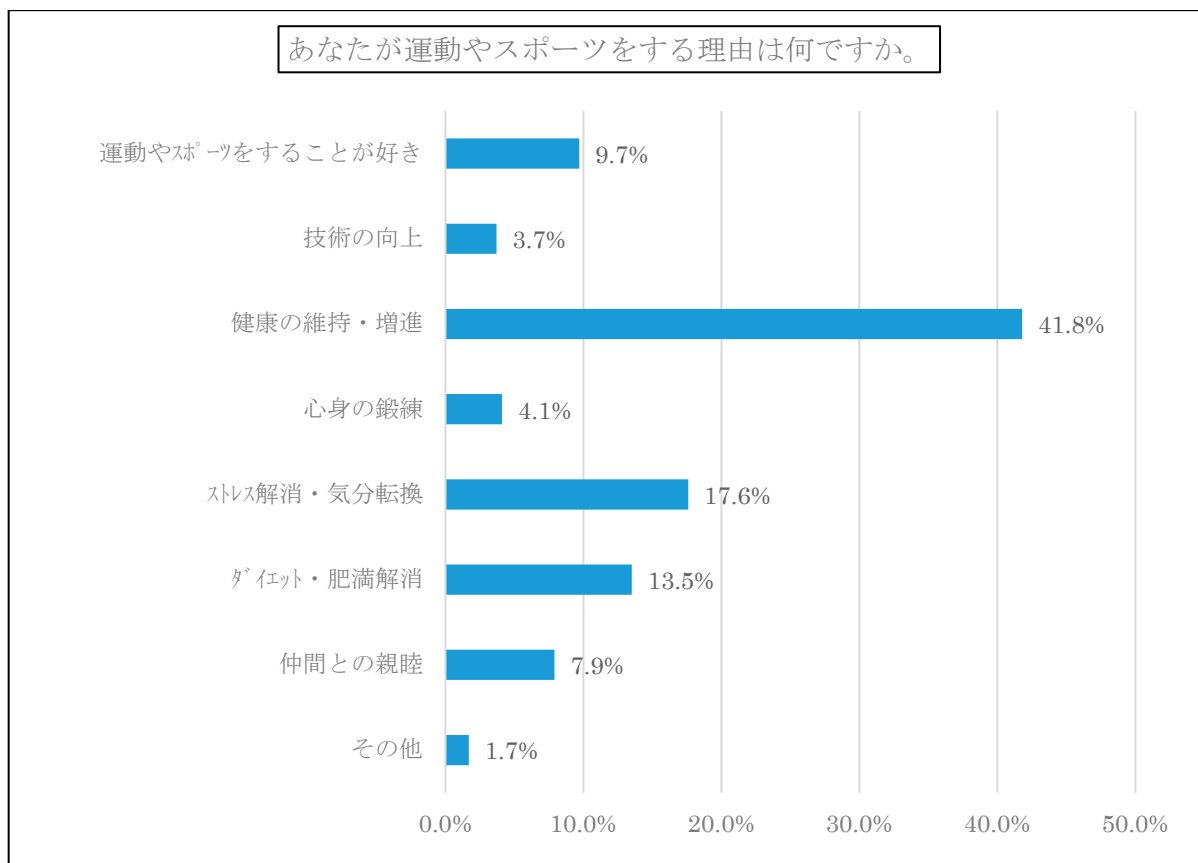


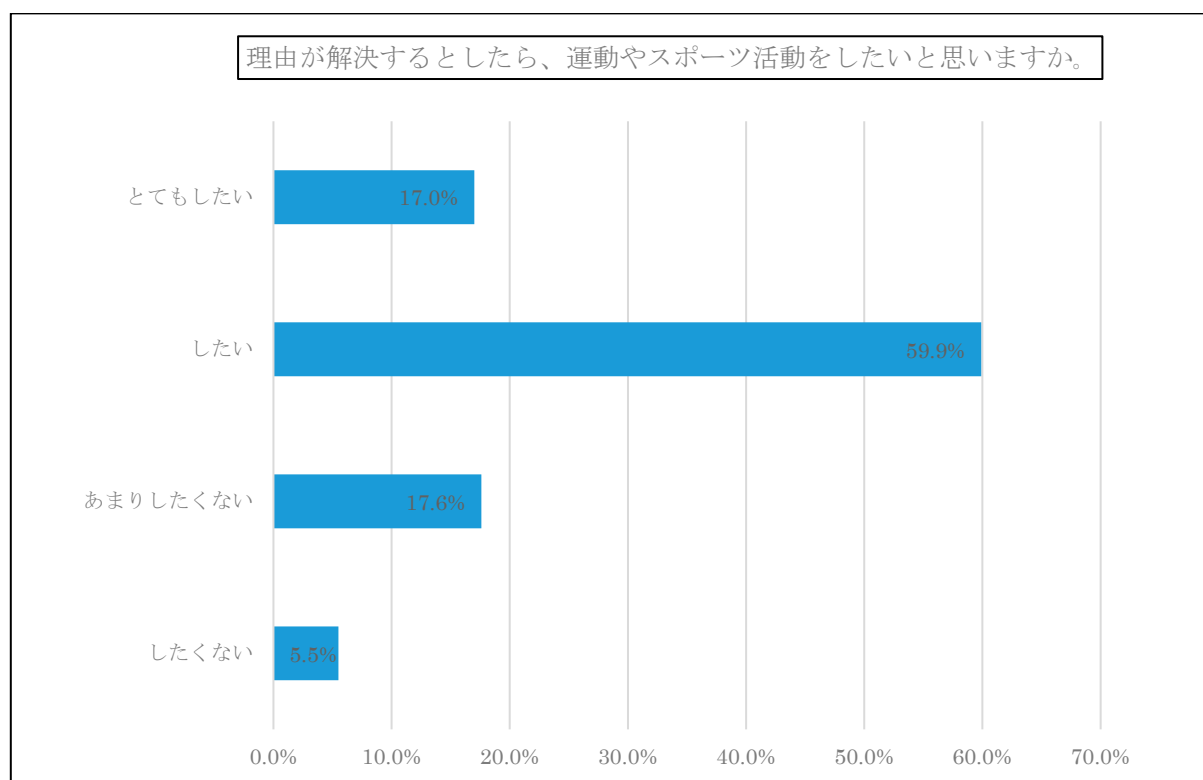
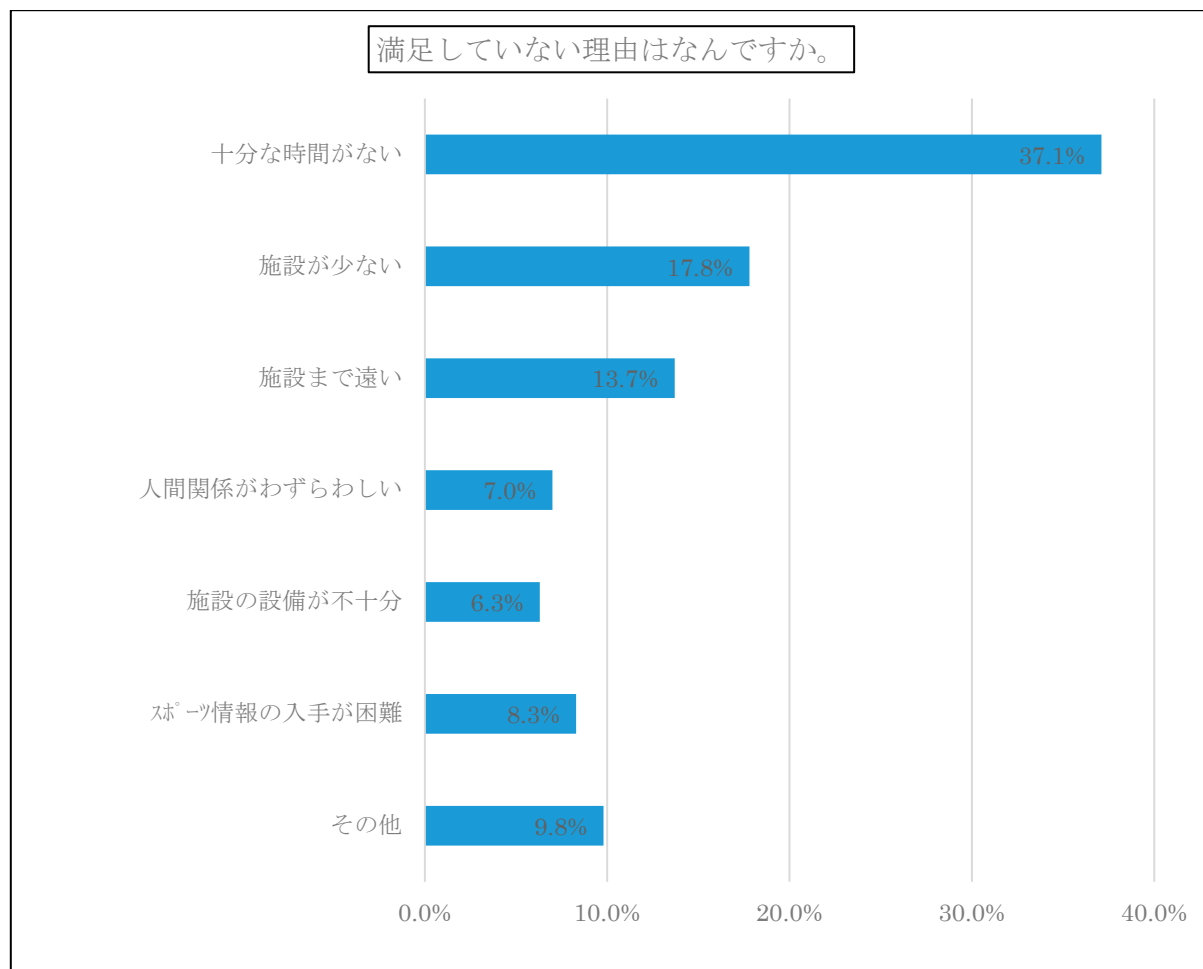
この1年間で運動やスポーツ活動をどの程度していますか。



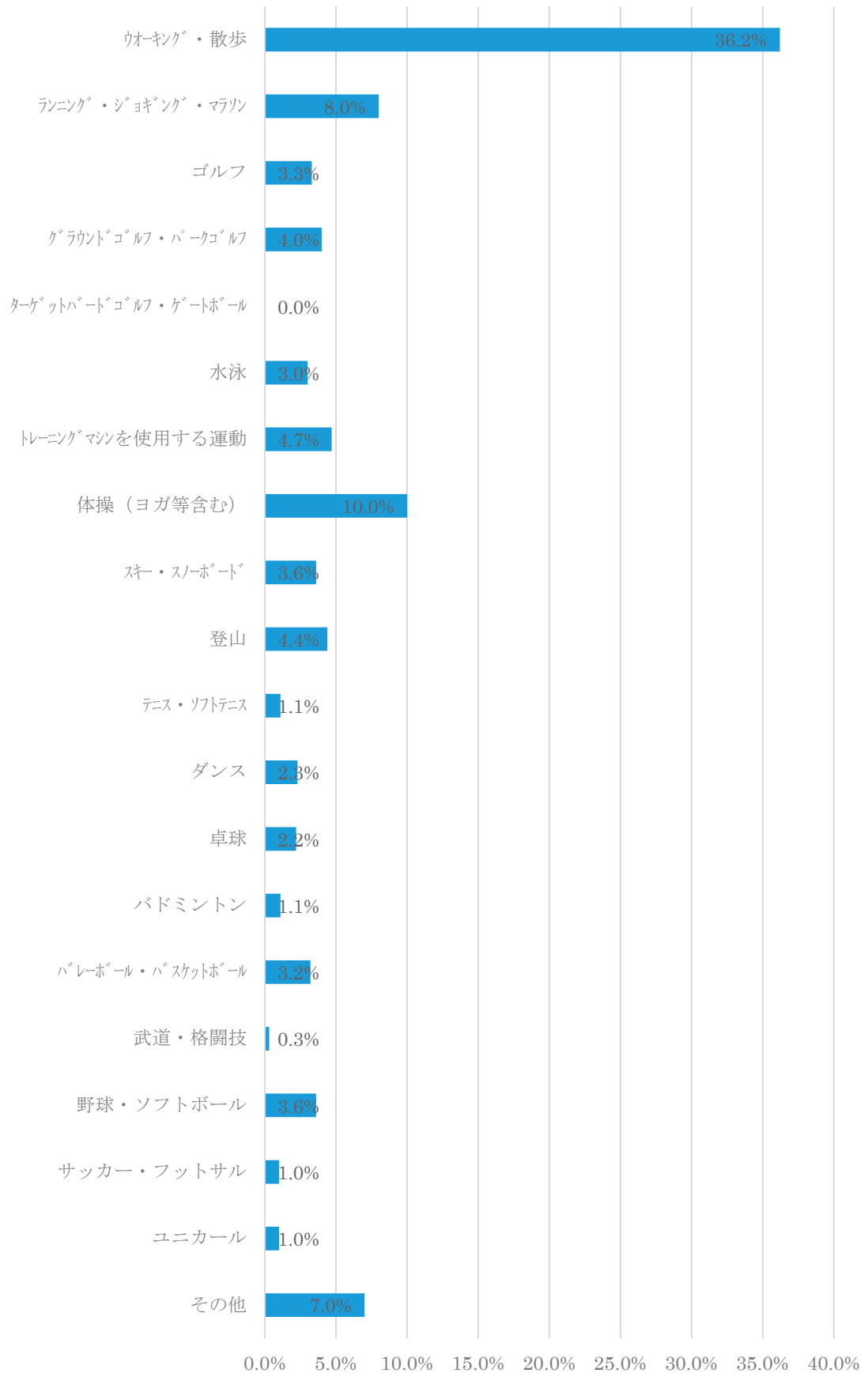
どのようになればスポーツ活動を行えますか。



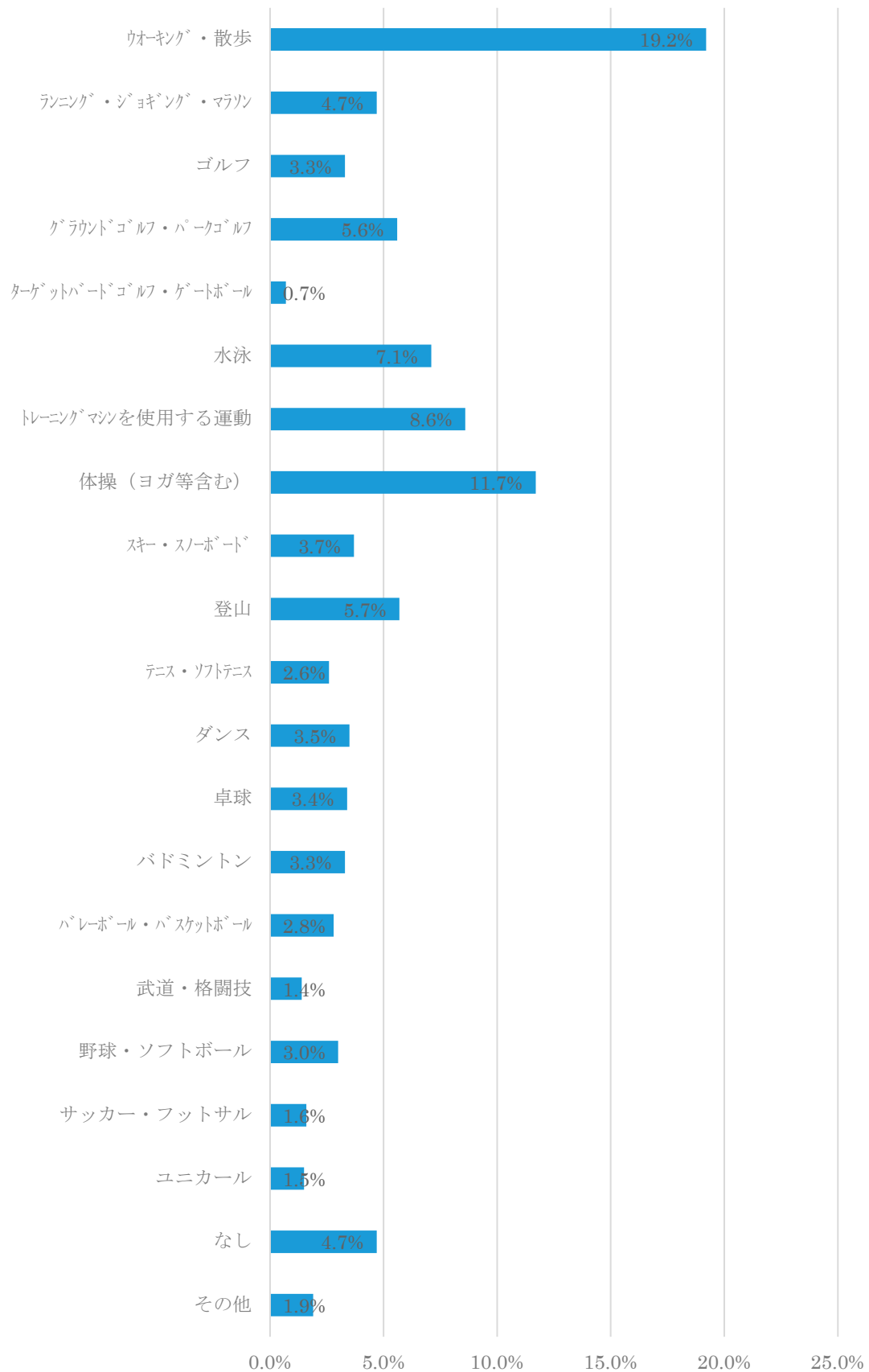


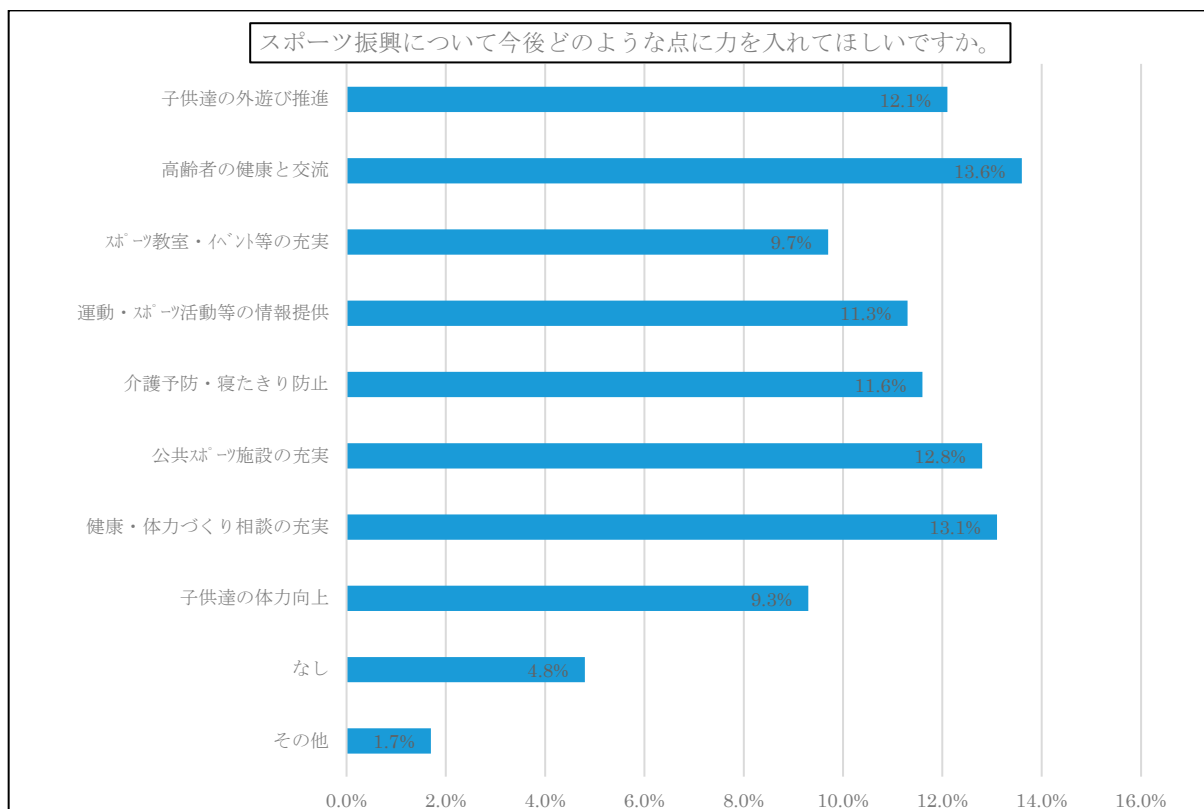
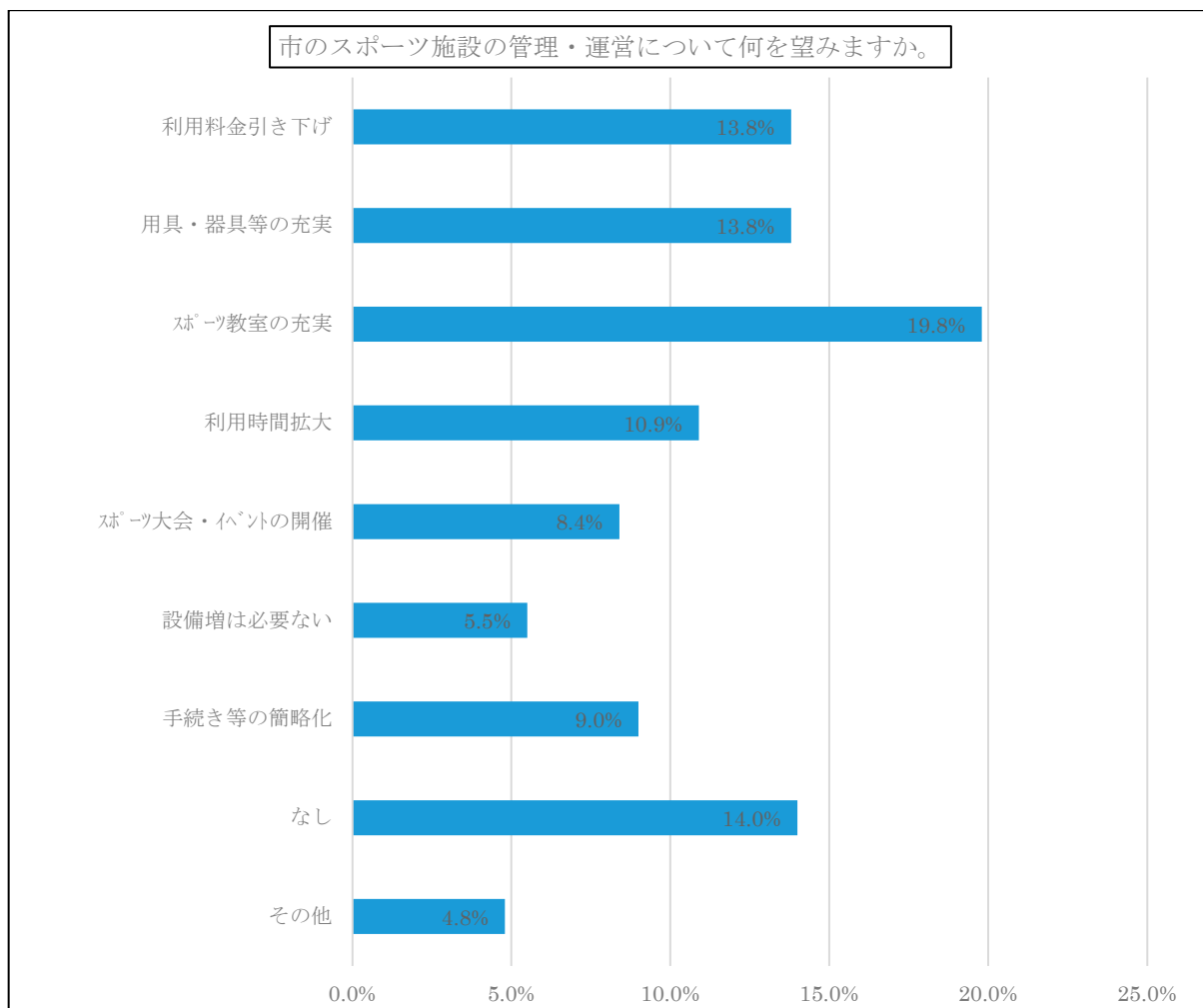


あなたはどのような運動やスポーツ活動をしていますか。



あなたはどのような運動やスポーツ活動をしてみたいですか。





スポーツ推進に関する児童・生徒意識調査結果

1. 調査の目的

北秋田市スポーツ推進計画策定にあたり、北秋田市内の児童・生徒のスポーツに関する考え及び実態を把握することを目的とする。

2. 調査設計

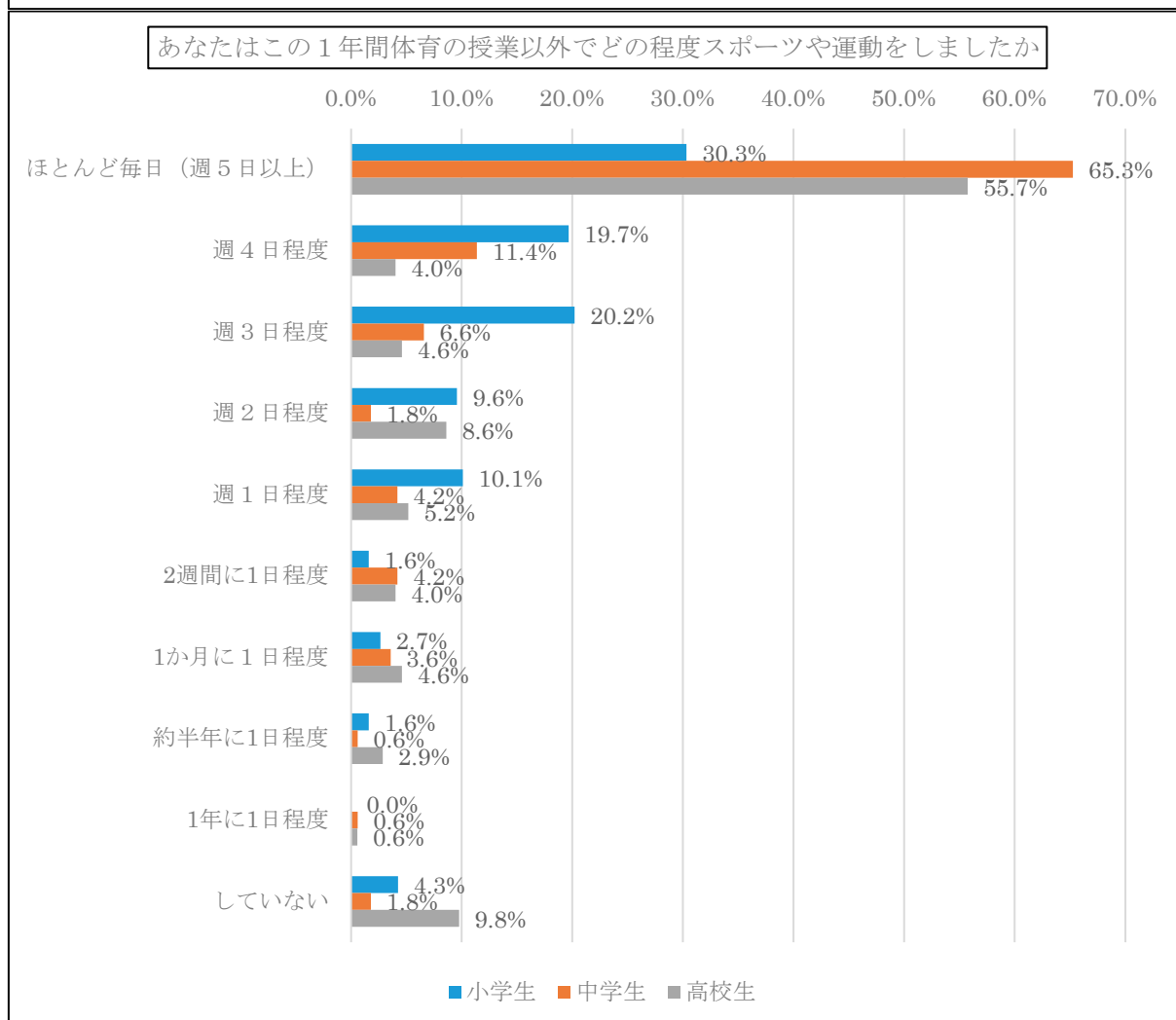
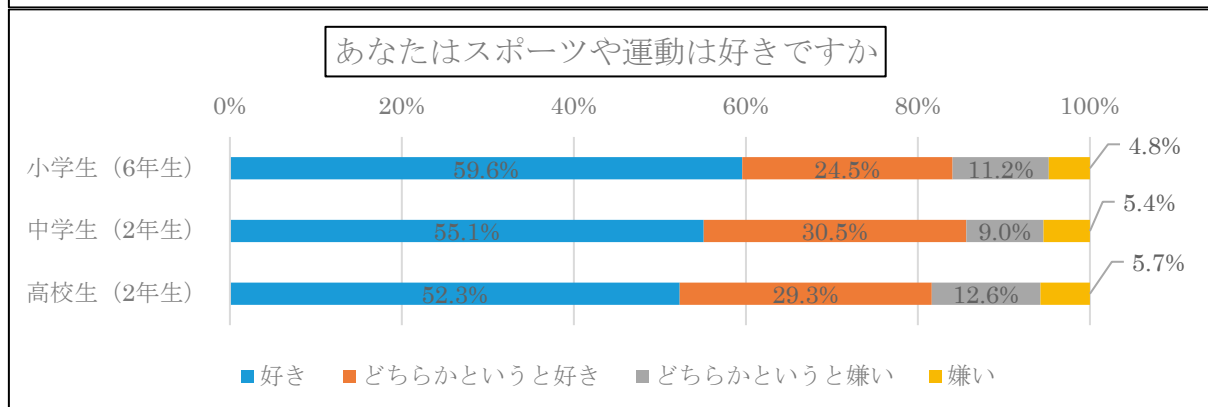
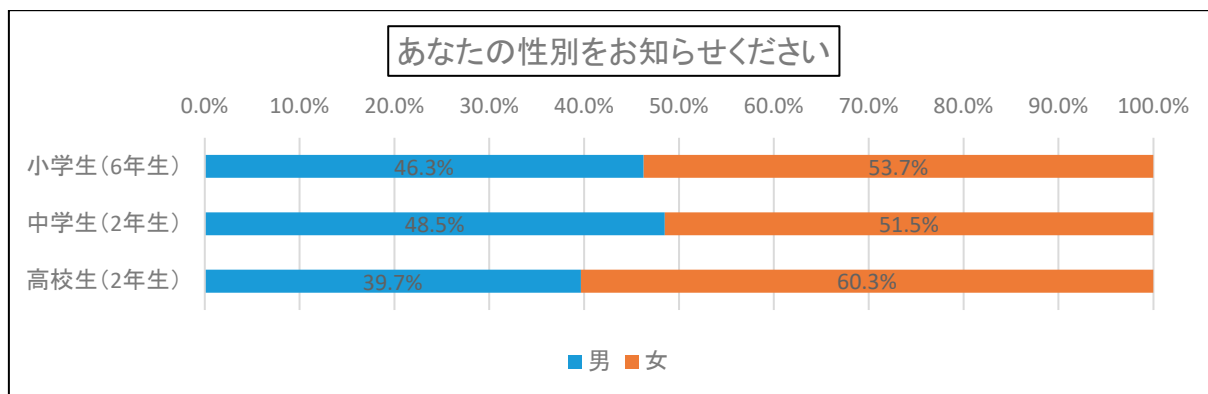
- (1) 調査地域 北秋田市内の小学校・中学校・高等学校
- (2) 調査対象 令和2年度 小学校6年生・中学校2年生・高等学校2年生
- (3) 対象者数 545人（小6：188人、中2：183人、高校：174人）
- (4) 抽出方法 各学年の生徒全員
- (5) 調査方法 各学校にて調査票配布および回答用紙回収
- (6) 調査期間 令和2年10月1日から令和2年10月23日

3. 回収結果

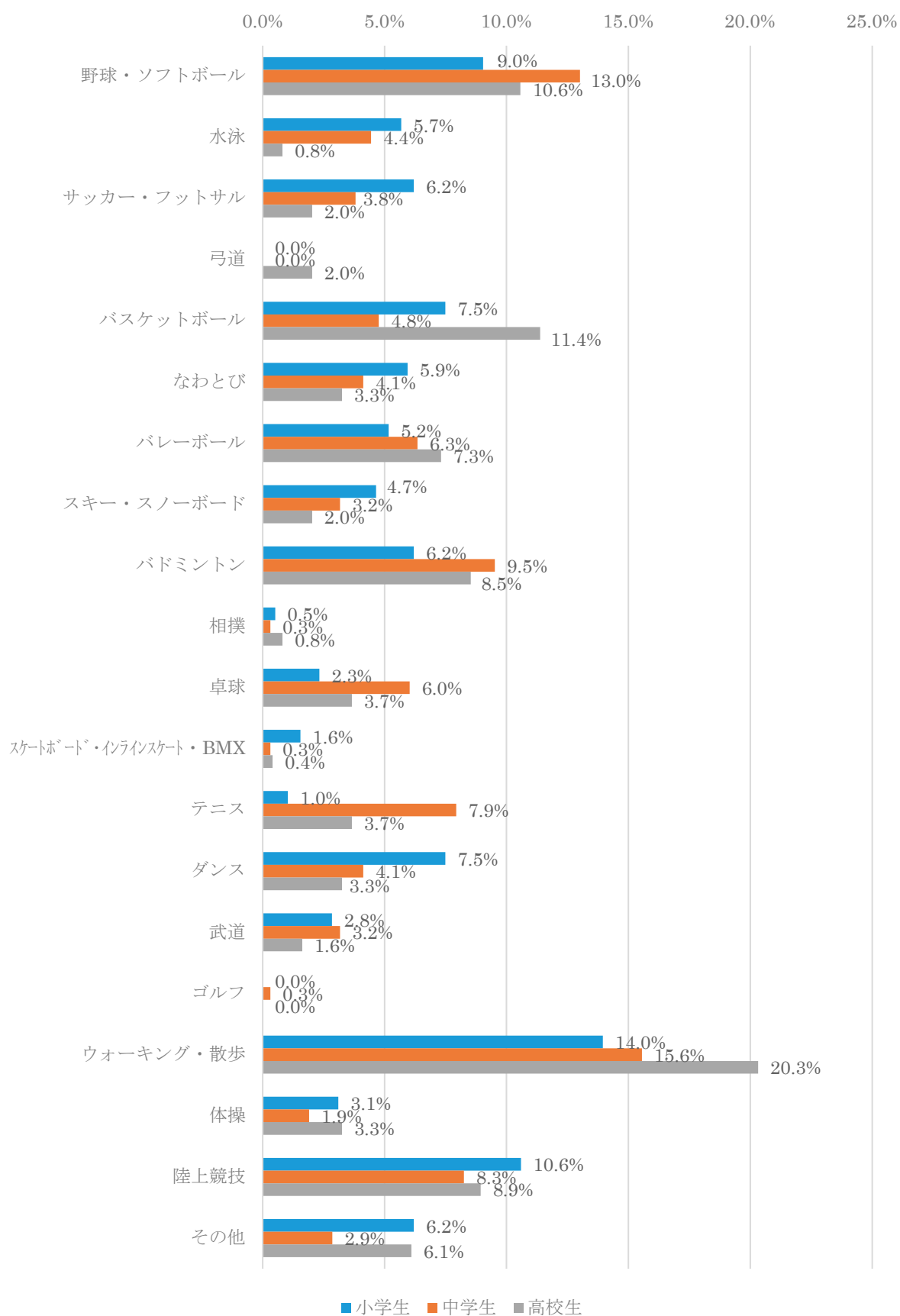
- (1) 回収数 525人
- (2) 回収率 96.3%

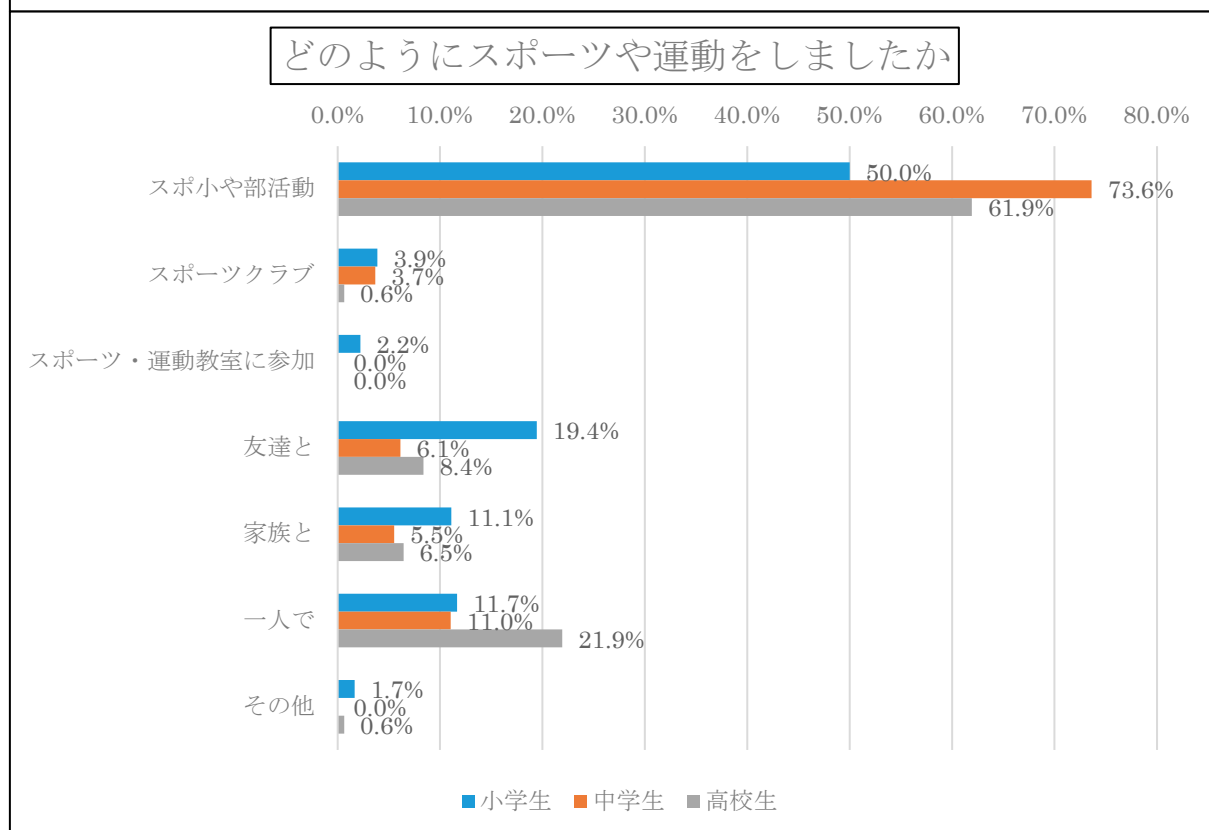
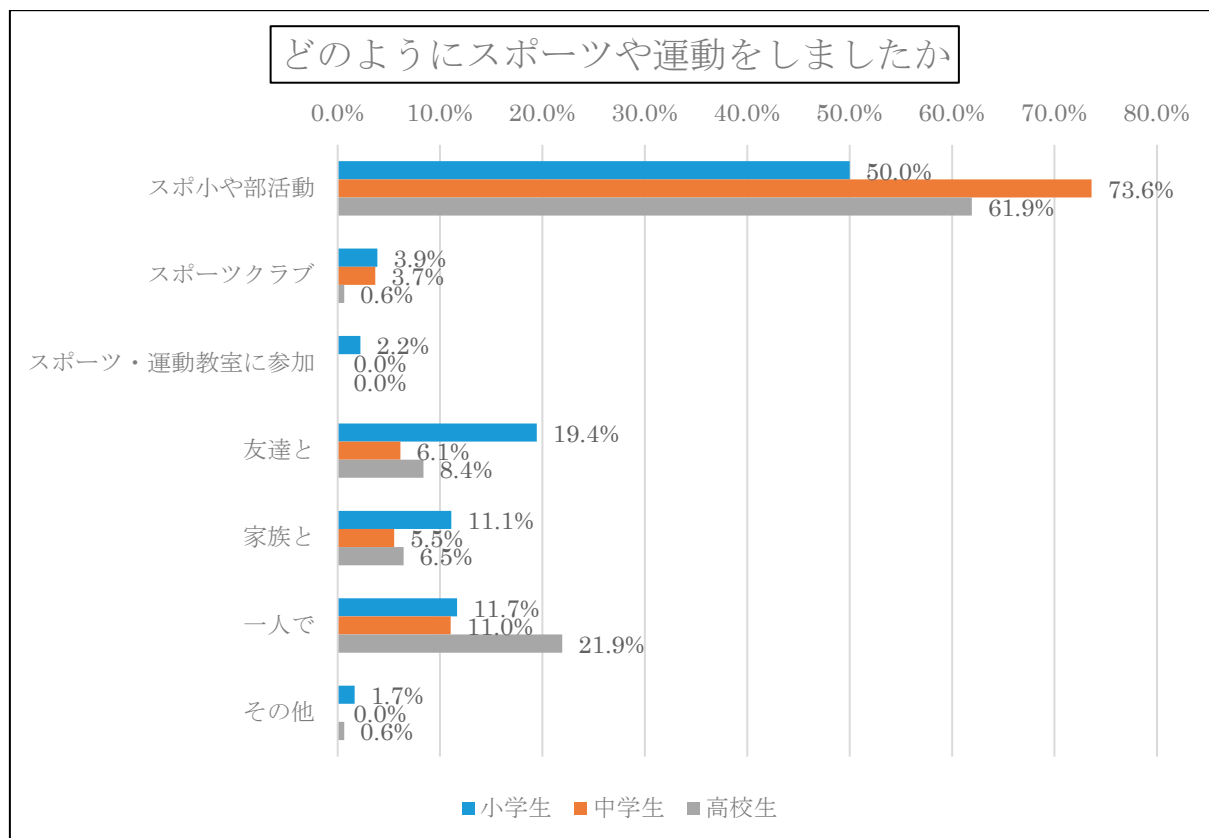
4. 集計方法

- (1) 集計にあたっては、小数第2位を四捨五入した。
- (2) 各設問の選択項目において、無回答については数値に含めず比率を算出した。
- (3) 回答の百分比（%）は、「回答数」を基数として算出した。複数回答を認める設問においては「回答者数」と「回答数」は必ずしも一致しない。

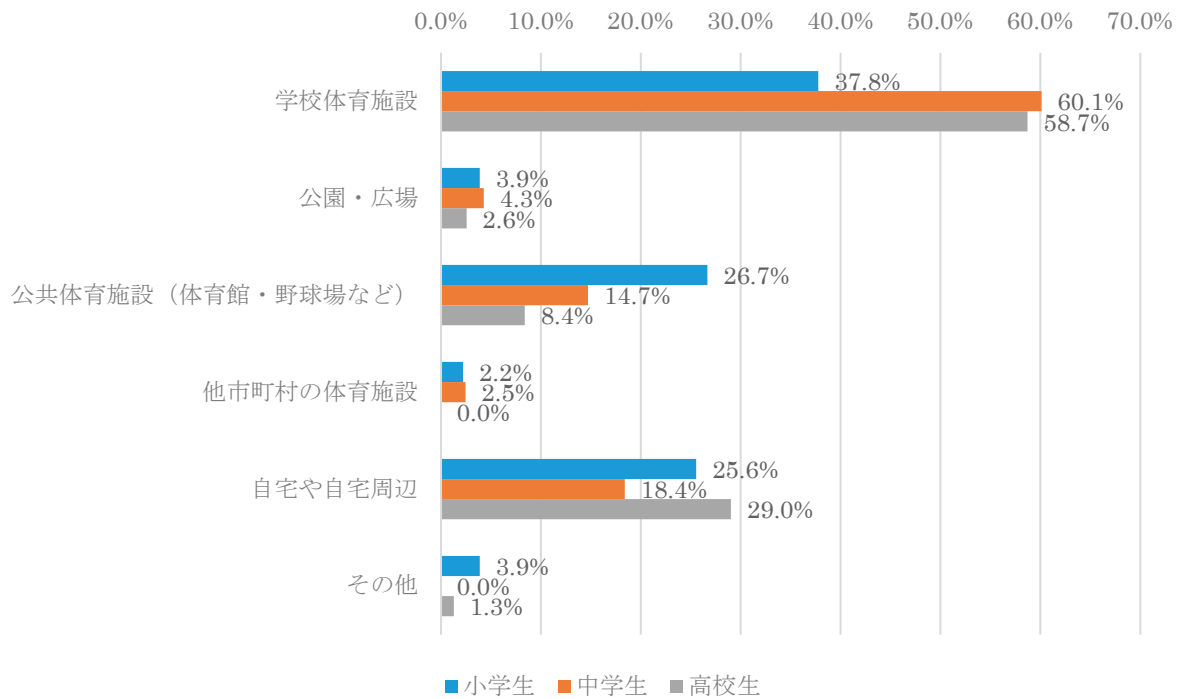


どんなスポーツや運動をしましたか

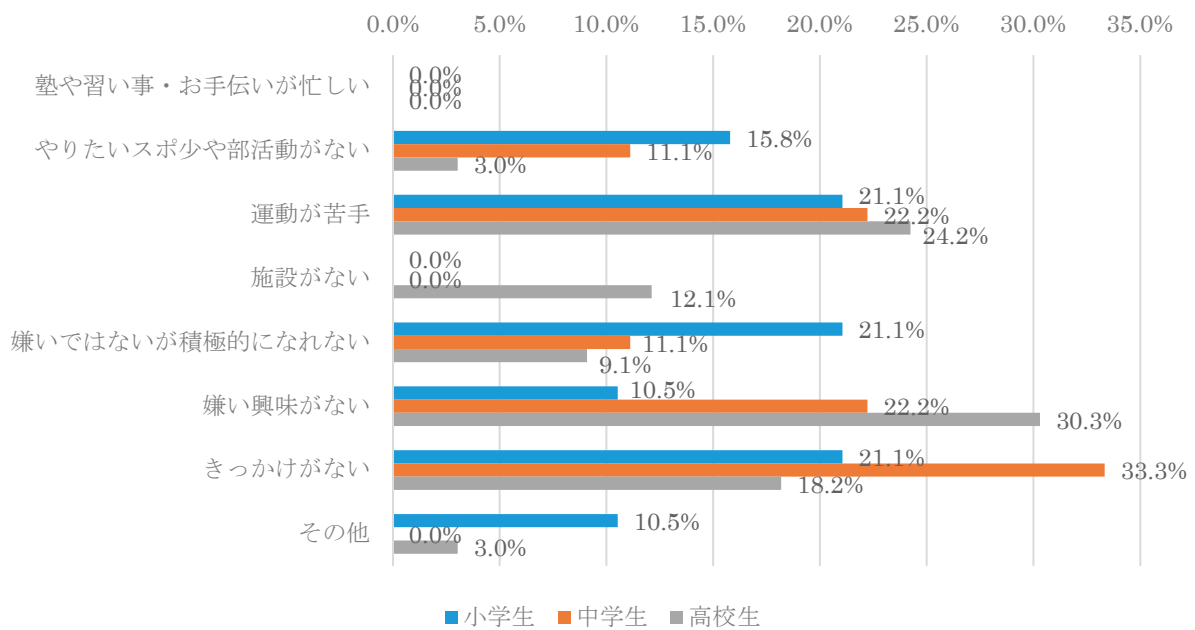


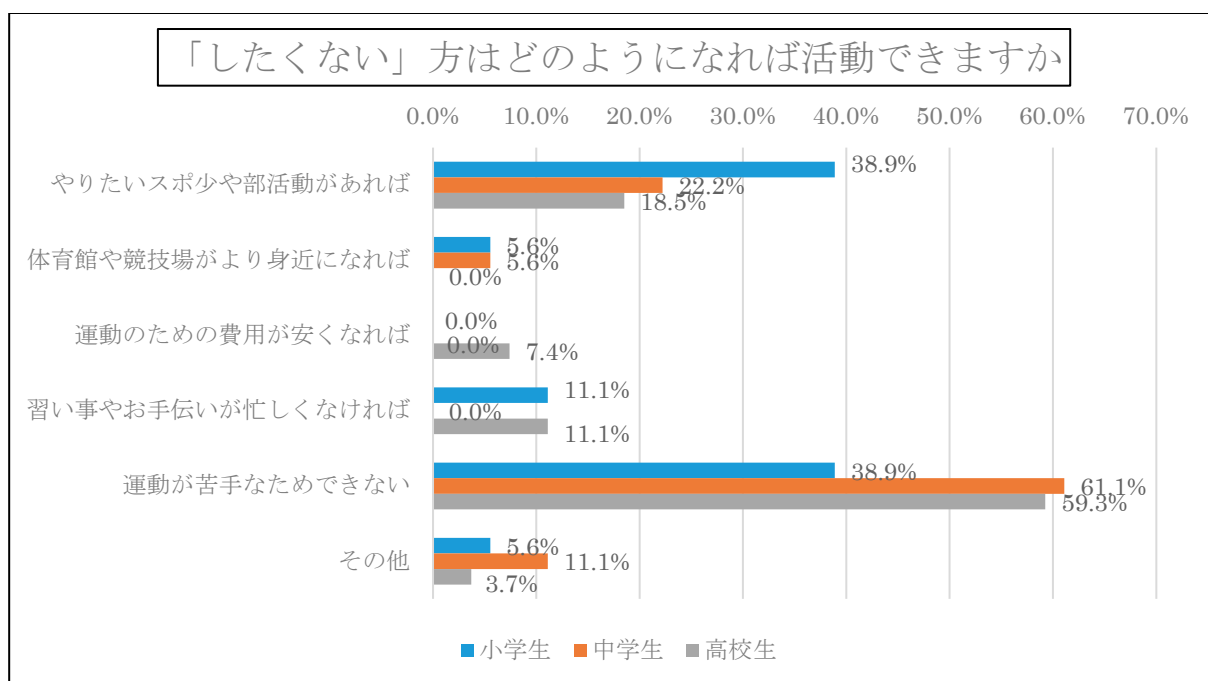
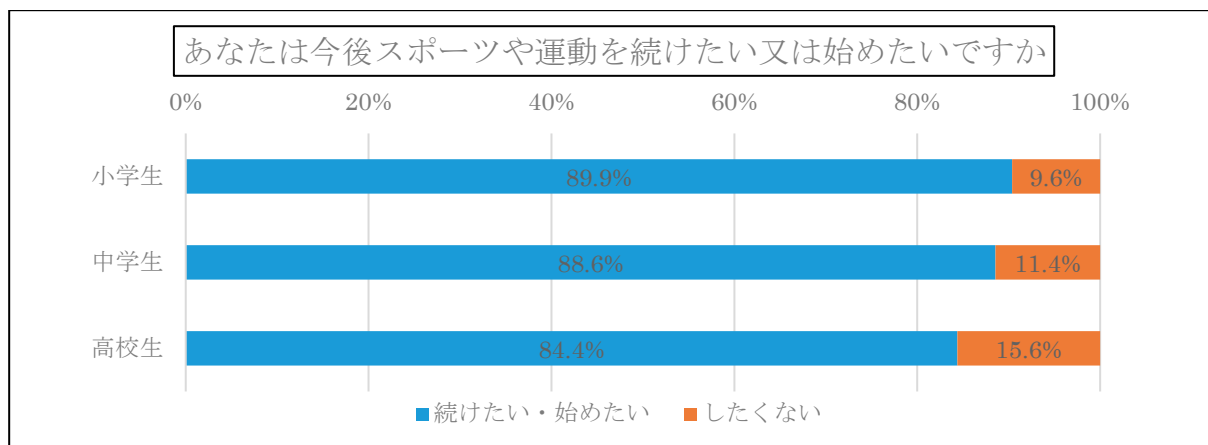


どこでスポーツや運動をしましたか

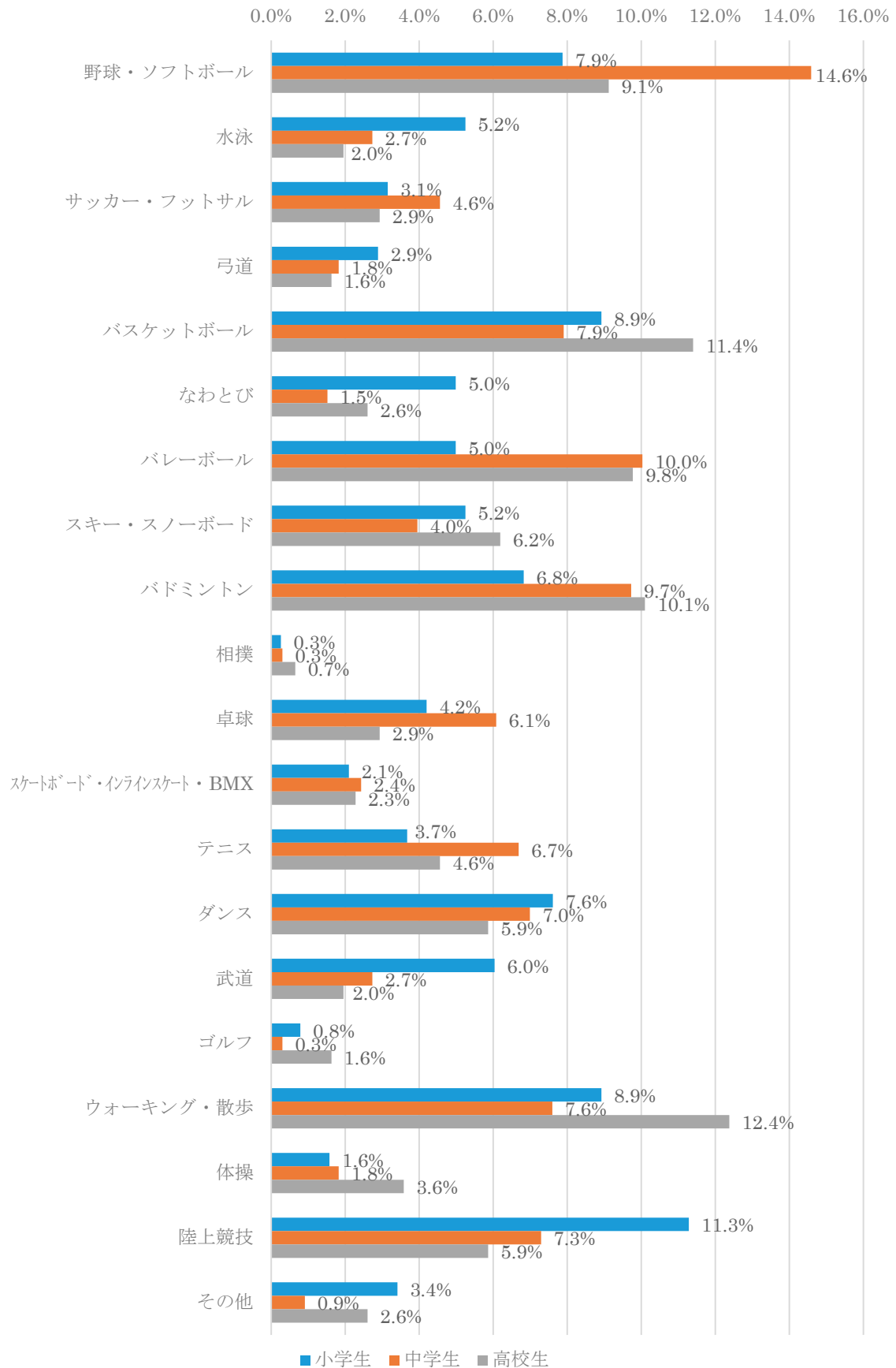


「していない」と答えた理由をおきかせ下さい





今後どんなスポーツや運動をしたいですか



北秋田市スポーツ推進計画

発 行	令和 3 年
発行者	北秋田市教育委員会
編 集	北秋田市教育委員会スポーツ振興課 〒018-3331 北秋田市鷹巣字東中岱 1 1 番地 鷹巣体育館内
	TEL 0186-62-3800 FAX 0186-62-3801